

EPSON

Endeavor NP30S/NB50E



ユーザーズマニュアル

Windows 7

ご使用前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。

情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。

購入時

使いはじめ

使いこなしたいとき

困ったとき

故障したとき

やりたいこと

- 本機の添付品を知りたい
- Windowsをセットアップしたい
- 本機を設置したい

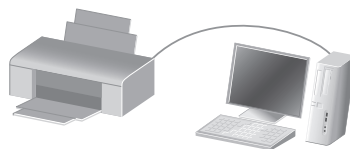
- インターネット/メールをしたい
- Windowsの操作方法を知りたい
- 用語を調べたい
- ソフトウェアの操作方法を知りたい
- 周辺機器(プリンター、デジタルカメラなど)を使いたい

- オプション製品(キーボード、マウス、ソフトウェアなど)を使いたい

- 画面表示の設定をしたい **p.35**
- サウンドの設定をしたい **p.37**



- セキュリティー設定をしたい **p.43**
- USB機器を接続したい **p.33**



- 添付ソフトを知りたい **p.20**
- BIOSの設定を変更したい **p.57**
- 省電力で使いたい **p.51**
- HDD領域を変更したい **p.109**
- 再インストール(リカバリー)をしたい **p.75**
- 本機の仕様を知りたい **p.115**
- 消去禁止領域のデータをバックアップしたい **p.107**

- トラブルを解決したい **p.90**
- システム診断をしたい **p.103**

- サポート・サービス情報を知りたい
- 修理を依頼したい



紙マニュアル

紙で添付されている情報です。



PC お役立ちナビ

コンピューターの画面で見る電子の情報です。

情報の場所



スタートアップガイド



[お役立ち]



オプション製品の
マニュアル



ユーザーズマニュアル(本書)



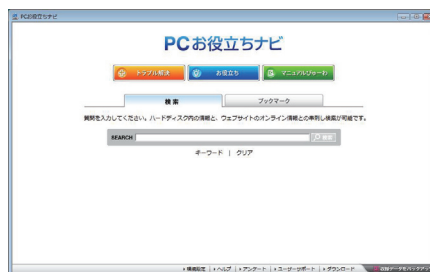
[トラブル解決]



サポート・サービスのご案内

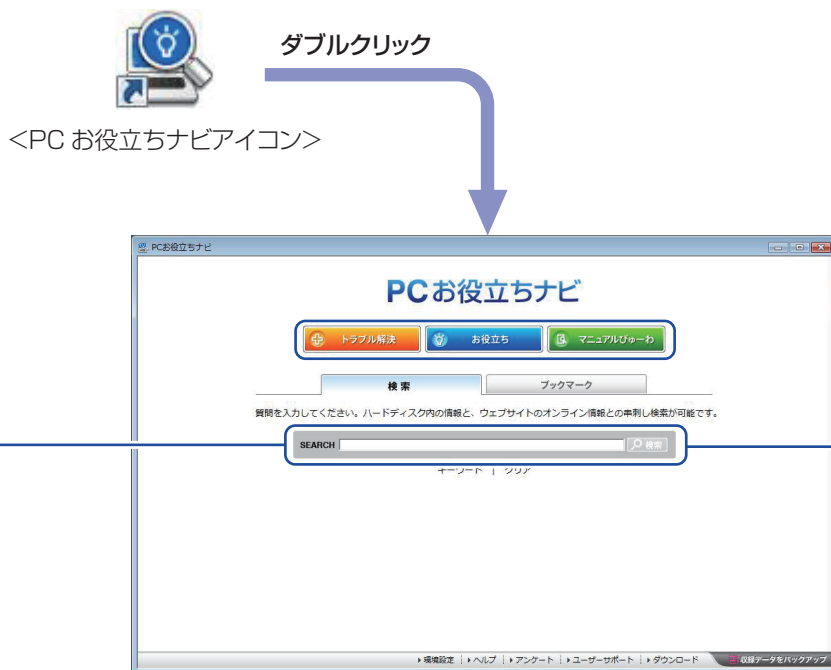


PCお役立ちナビ p.4



知りたい情報はこれで検索！ PC お役立ちナビ

本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。



① 検索をする

TOPページから
検索実行

本機に収録されている情報+ユーザーサポート
ページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル (PDF)・ヘルプなど
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。



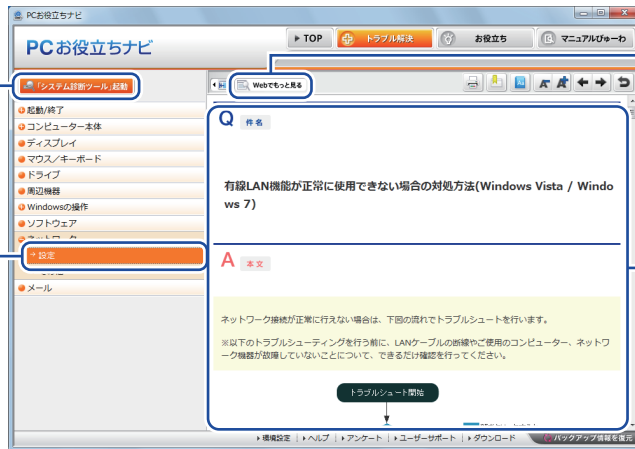
② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

トラブル解決

トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

システム診断
を実行

①トラブルの種類
を選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

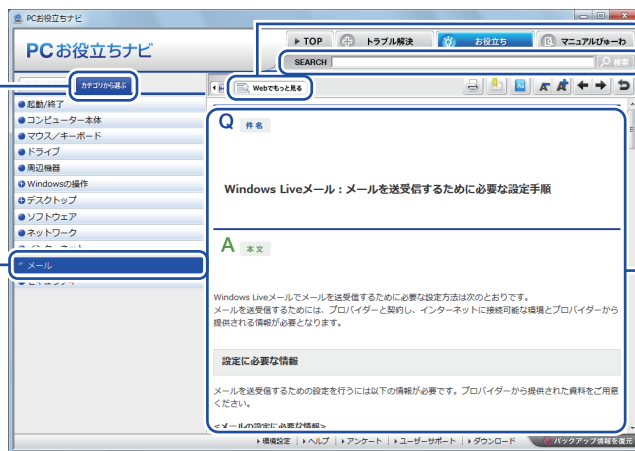
②内容が表示される

お役立ち

コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

①情報の分類を
選択

②見たい項目を
選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

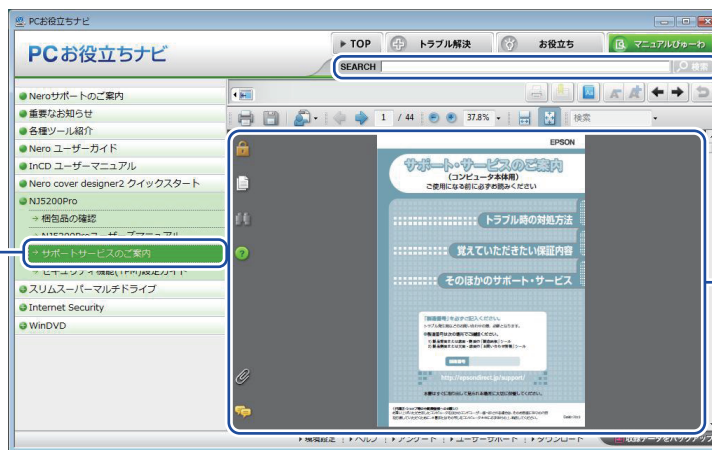
「お役立ち」内の
情報を検索

③内容が表示される

マニュアルびゅーわ

本機に添付されているマニュアルのPDFデータを収録しています。

①見たいマニュアル
を選択



「マニュアルびゅーわ」
内の情報を検索

②マニュアル(PDF)
が表示される

<画面はイメージです>

目次

ご使用の前に

製品保護上の注意.....	10
マニュアルの読み方.....	13
各部の名称.....	18
添付されているソフトウェア.....	20

1 コンピューターの基本操作

Windows 操作のヒント.....	24
マウスを使う.....	28
キーボードを使う.....	29
HDD の概要.....	31
USB 機器を使う.....	33
画面表示機能.....	35
サウンド機能.....	37
ネットワーク機能.....	41
インターネットを使用する際のセキュリティ対策.....	43
省電力機能.....	51
その他の機能.....	56

2 BIOS の設定

BIOS の設定を始める前に.....	58
BIOS Setup ユーティリティの操作.....	59
BIOS Setup ユーティリティの設定項目.....	69

3 ソフトウェアの再インストール

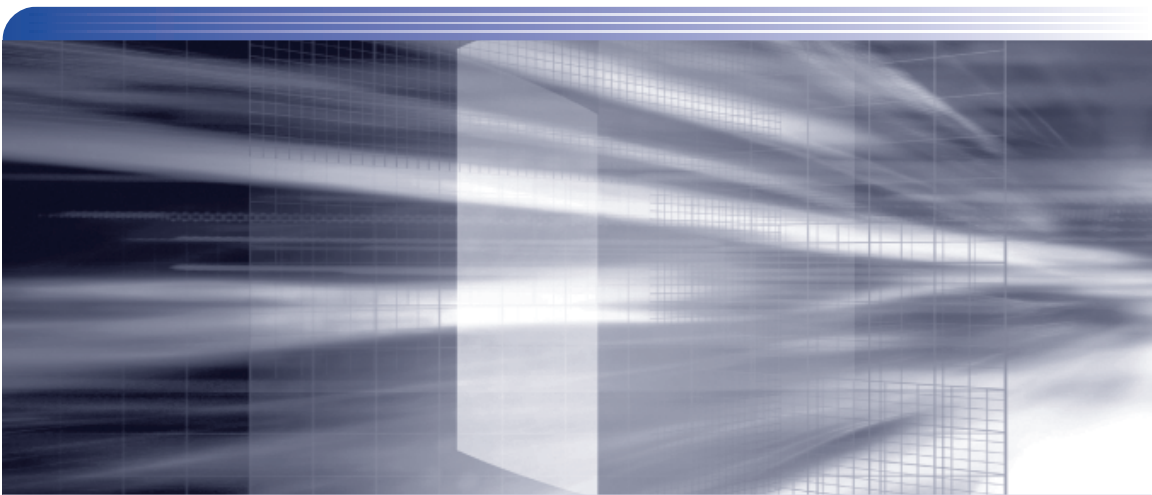
再インストールの前に.....	76
Windows のインストール.....	79
ドライバー / ソフトウェアのインストール.....	84
再インストール後の作業.....	87

4 困ったときは

トラブルが発生したら.....	90
起動・画面表示できないときは.....	92
トラブル時に効果的な対処方法.....	97

付録

お手入れ	106
消去禁止領域のデータをバックアップする	107
HDD 領域の変更	109
コンピューターを廃棄するときは.....	113
機能仕様一覧	115



ご使用前に

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項や、取り扱い上の注意などを説明します。

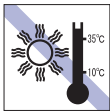
製品保護上の注意.....	10
マニュアルの読み方.....	13
各部の名称.....	18
添付されているソフトウェア.....	20

製品保護上の注意

使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

特に指定のない限り、注意事項は、本体および AC アダプターなどの同梱品に適用されます。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。

故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10℃～35℃です。



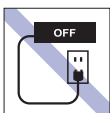
直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。また、直射日光などの紫外線は、変色の原因になります。



コンピューター本体を横置きにしないでください。

故障、誤動作の原因となります。本機は縦置き専用に設計されています。



コンセントに電源プラグを接続したまま、本体カバーを外して作業しないでください。

電源を切っても、本機内部に微小な電流が流れているため、ショートして故障の原因となります。



移動するときは、振動や衝撃を与えないようにしてください。

内蔵の周辺機器（HDD など）も含めて、故障、誤動作の原因となります。

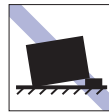


他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。

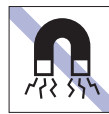


ホコリの多い所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。



不安定な所には設置しないでください。落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。本機の誤動作が生じたり、データが破損したりすることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。

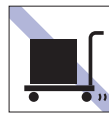


電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。

電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えてしまいます。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。

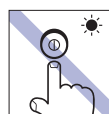


本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。

衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。配線ケーブルなどはすべて取り外してください。



アクセスランプ点滅中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



ACアダプターの上に乗ったり、踏みつけたり、重い物を載せるなどして、ケースを破損しないでください。



ACアダプターはコードを持って抜き差ししないでください。
コードの断線や接触不良の原因となります。



無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力のUPSを使用してください。正弦波出力以外のUPSを使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。

記録メディア

記録メディアは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、記録メディアに収録されているデータが破損するおそれがあります。

記憶メディアの種類

FD FD **CD** 光ディスクメディア

記録メディアの種類を指定していない場合は、すべての記録メディアに適用されます。



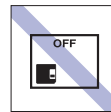
直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



アクセスランプ点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



上に物を載せないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



キズを付けないでください。



ゴミやホコリの多いところでは、使用したり保管したりしないでください。



クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスカバーを開けたり、磁性面あるいは金属端子に触れたりしないでください。

FD



磁性面や金属端子にホコリや水を付けないでください。シンナーやアルコールなどの溶剤類を近づけないでください。

FD



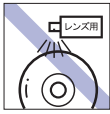
テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。

FD



何度も読み書きした FD は使わないでください。
 磨耗した FD を使うと、読み書きでエラーが生じることがあります。

FD



レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。
 クリーニングするときは、CD 専用クリーナーを使ってください。

CD



光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングする CD は使わないでください。

CD



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。

CD



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。

CD



レコードのように回転させて拭かないでください。
 内側から外側に向かって拭いてください。

CD



シールを貼らないでください。

CD



温度差の激しい場所に置かないでください。
 結露する可能性があります。

CD

マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



ゴミやホコリの多いところでは、使用したり保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。



持ち運びの際は、マウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。



落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。



レンズ部分に触れないでください。

マニュアルの読み方

本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。

仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、「ユーザーズマニュアル」（本書）とは別に提供されている場合があります。



お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別冊や電子マニュアルなどの形式で提供されていますので、ご確認ください。

- 本製品に同梱されている別冊マニュアル
- CD-ROMなどに収録されている電子マニュアル（PDFファイルなど）
- 「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅうわ］に収録されている電子マニュアル

マニュアル中の表記














安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。
	 で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。  は Enter キーを表します。また、  は  のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。
 + 	+の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。 この例では、  を押したまま  を押します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
	別冊子を示します。
「 」	冊子の名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』
	サポートツール「PC お役立ちナビ」を示します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
FD	フロッピーディスク
FDD	フロッピーディスクドライブ
光ディスクメディア	CD メディア、DVD メディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称

オペレーティングシステム (OS) に関する表記

本書では、オペレーティングシステム (OS) の名称を次のように略して表記します。

Windows 7 32bit 版	Windows [®] 7 Professional 32bit 版 Windows [®] 7 Home Premium 32bit 版
Windows 7 64bit 版	Windows [®] 7 Professional 64bit 版 Windows [®] 7 Home Premium 64bit 版

HDD 容量の記載

本書では、HDD 容量を 1GB (ギガバイト) = 1000MB として記載しています。

メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB (ギガバイト) = 1024MB として記載しています。

Windows の画面表示に関する記載方法

デスクトップ画面

本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載します。



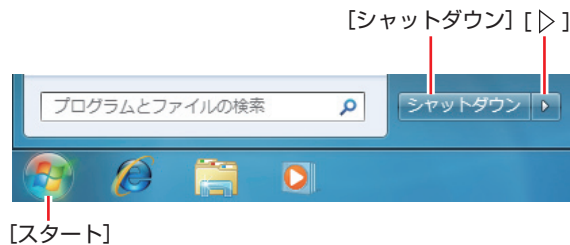
ボタン

ボタンは [] で囲んで記載しています。

例)  : [OK]

スタートメニュー

スタートメニューのボタン類は、次のように記載します。



画面操作

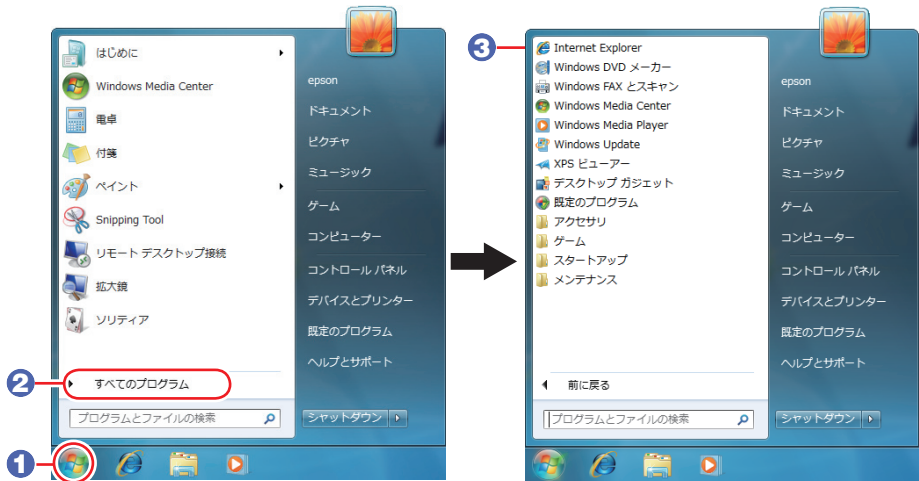
本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載します。

●記載例

【スタート】－「すべてのプログラム」－「Internet Explorer」をクリックします。

●実際の操作

- 1 【スタート】をクリックします。
- 2 表示されたメニューから「すべてのプログラム」をクリックします。
- 3 表示されたメニューから「Internet Explorer」をクリックします。



※表示される項目は、システム構成によって異なります。

コントロールパネル

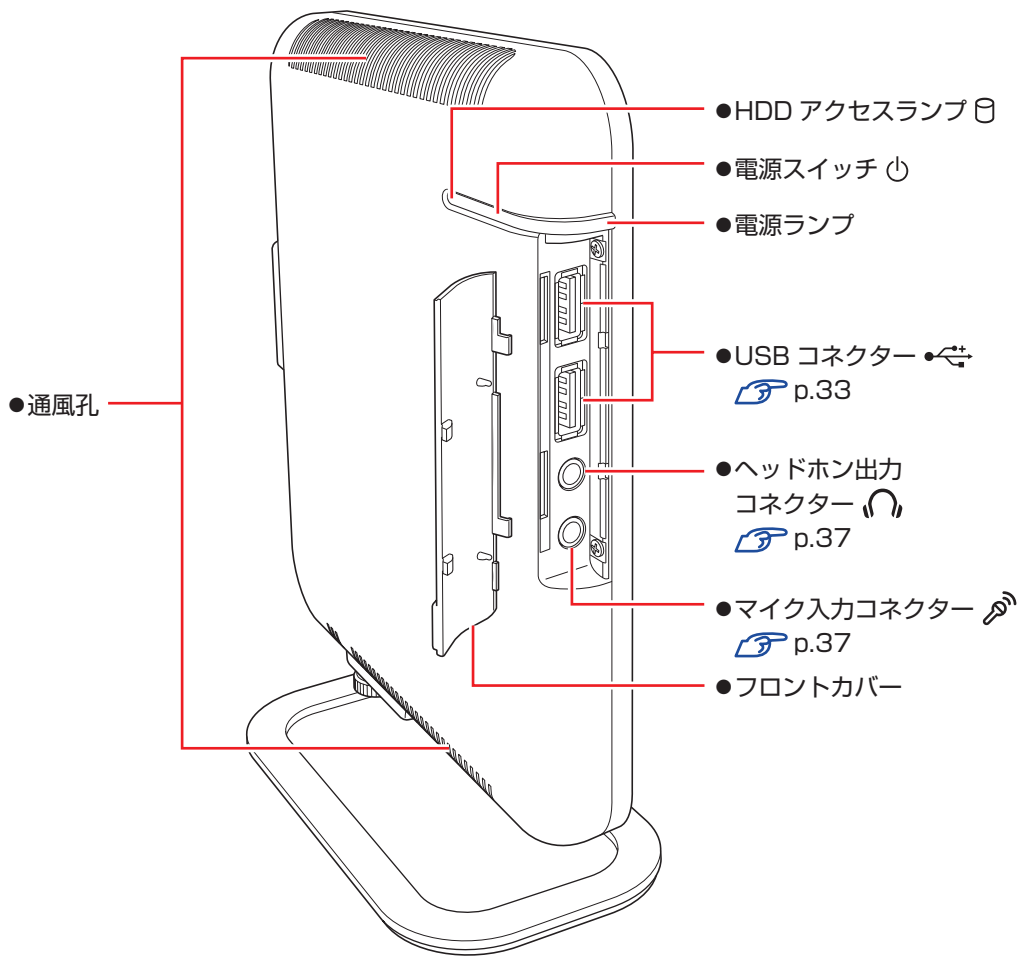
本書では、コントロールパネルの表示が、「カテゴリ」であることを前提に記載しています。





<表示方法：カテゴリ>



各部の名称



本体前面・左側面






本体背面


●DVI-I コネクター 
 p.35

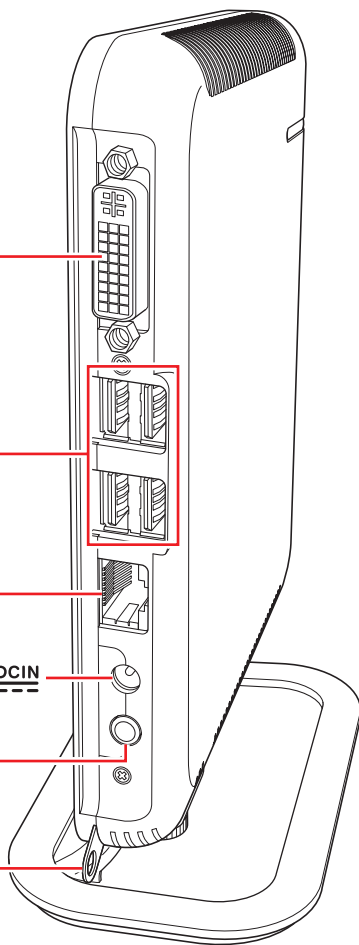
●USB コネクター 
 p.33

●LAN コネクター 
 p.41

●AC アダプターコネクター  DCIN

●ライン出力コネクター 
 p.38



●セキュリティーロック
ホール  p.56



添付されているソフトウェア

本機に添付されているソフトウェアについて説明します。

表中記号の見方

	ソフトウェアのインストール用データは添付の DVD または CD に収録されています。
	ソフトウェアのインストール用データは HDD の「消去禁止領域」に収録されています。この領域を削除すると再インストールができなくなります。「消去禁止領域」は、絶対に削除しないでください。



参考




消去禁止領域に収録されているソフトウェアのバックアップ


書き込み機能のある光ディスクドライブを搭載している場合、HDD の「消去禁止領域」に収録されているソフトウェアを、CD や USB 記憶装置にバックアップすることができます。

 p.107 「消去禁止領域のデータをバックアップする」

本機にインストールされているソフトウェア


次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされています。

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
<ul style="list-style-type: none">● Windows 7 本機のおペレーティングシステム (OS) です。	 Windows 7 リカバリー DVD
<ul style="list-style-type: none">● Windows XP Mode (Windows 7 Professional のみ) Windows 7 上で Windows XP を起動し、Windows XP のアプリケーションを動作させるための機能です。	
<ul style="list-style-type: none">● リカバリーツール HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアを再インストールするためのプログラムです。	 リカバリーツール CD
<ul style="list-style-type: none">● 本体ドライバー<ul style="list-style-type: none">• ビデオドライバー マザーボード上のビデオ機能を使用するためのドライバーです。• サウンドドライバー マザーボード上のサウンド機能を使用するためのドライバーです。• ネットワークドライバー マザーボード上のネットワーク機能を使用するためのドライバーです。• Java2 Runtime Environment Java アプリケーションを実行するためのソフトウェアです。• PC お役立ちナビ コンピューターの情報を簡単に検索できるサポートツールです。システム診断ツールも含まれています。	 消去禁止領域

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> ● Adobe Reader PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。 	 消去禁止領域
<ul style="list-style-type: none"> ● Windows Live Essentials 「Windows Live メール」など、複数のソフトウェアを含むパッケージです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● Internet Explorer 9 Web ページを閲覧するためのソフトウェアです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● Bing Bar Internet Explorer 上に設置される「Bing」の検索バーです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日間限定版 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティソフトウェアです。危険なサイトへのアクセスを防ぐ Web セーフティーツール「マカフィー・サイトアドバイザーライブ」も含まれています。 NB50E の場合、購入時の選択によっては、インストールされていません。 	


必要に応じてインストールするソフトウェア

次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。購入時は、「初期設定ツール」からインストールすることができます。

必要に応じてインストールするソフトウェア	インストール用データの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> ● i-フィルター 6 30 日版 インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングソフトウェアです。 	 消去禁止領域
<ul style="list-style-type: none"> ● Endeavor 電源プラン設定ツール 本機に節電設定を行うためのソフトウェアです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● ATOK 無償試用版 (30 日間) 日本語変換に優れた、日本語入力システムです。 	—

CD から起動するソフトウェア

次のソフトウェアは、CD から起動して実行します。インストールは必要ありません。

CD から起動するソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> ● システム診断ツール 本機の調子が悪いときにシステム診断を行うためのツールです。HDD 内のデータを消去することもできます。 	 リカバリーツール CD



1

コンピューターの基本操作

キーボードやマウスなど、コンピューターの基本的な操作方法について記載しています。

Windows 操作のヒント.....	24
マウスを使う	28
キーボードを使う.....	29
HDD の概要.....	31
USB 機器を使う	33
画面表示機能	35
サウンド機能	37
ネットワーク機能.....	41
インターネットを使用する際のセキュリティー対策...	43
省電力機能	51
そのほかの機能.....	56

Windows 操作のヒント

Windows 操作についてのヒントを記載します。

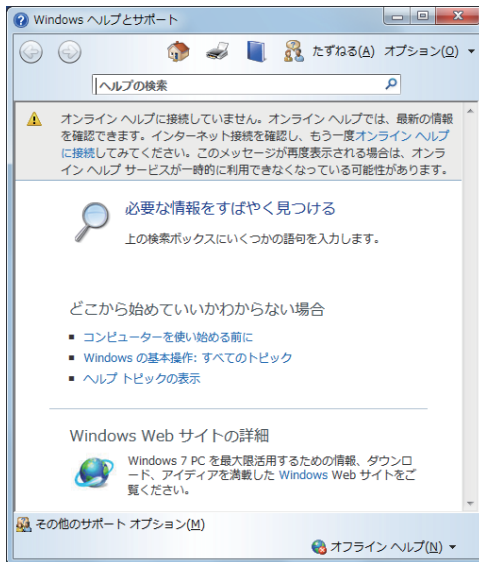
Windows 7の使用方法

Windows 7 の使用法は、次をご覧ください。

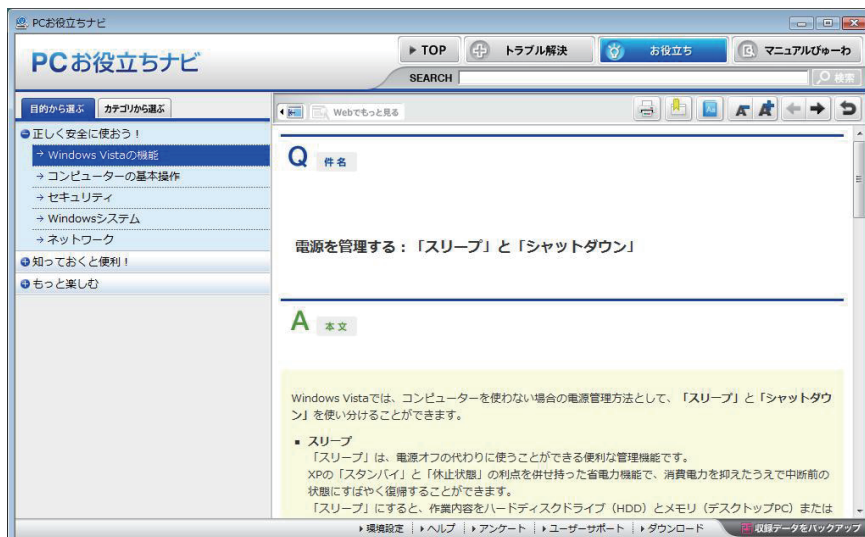
●ヘルプとサポート

「ヘルプとサポート」は次の場所から開きます。

[スタート] - 「ヘルプとサポート」

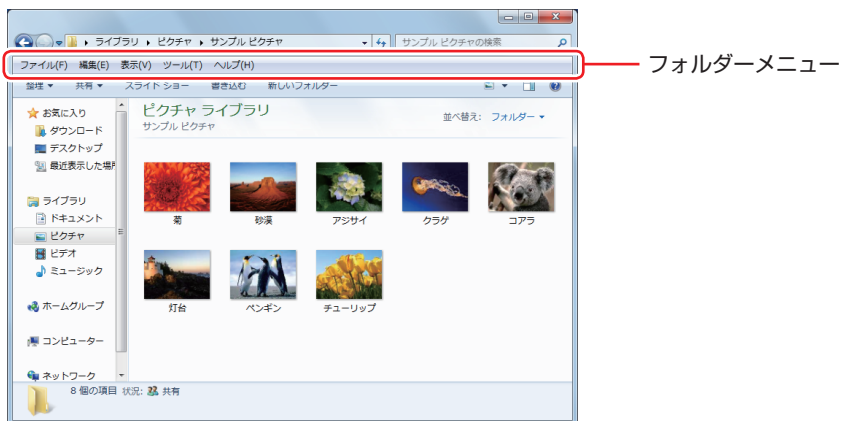


●「PC お役立ちナビ」 - 「お役立ち」



フォルダーメニューの表示

「ファイル」や「ツール」などのフォルダーメニューは、標準では表示されません。フォルダーメニューを表示したい場合は、**[Alt]** を押します。もう一度 **[Alt]** を押すと、フォルダーメニューは表示されなくなります。



常にフォルダーメニューを表示したい場合は、次の場所で設定します。

[スタート] - **[コントロールパネル]** - **[デスクトップのカスタマイズ]** - **[フォルダーオプション]** - **[表示]** タブ - **[常にメニューを表示する]**

ユーザーアカウントを作る

本機を何人かで共同で使用する場合は、ユーザーアカウントを作成すると便利です。ユーザーアカウントをいくつか作成すると、Windows をユーザーごとに切り替えて、各ユーザーの構成で本機を使用することができます。

ユーザーアカウントの作成

ユーザーアカウントの作成は、次の場所で行います。

[スタート] - **[コントロールパネル]** - **[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]** - **[ユーザーアカウント]** - **[別のアカウントの管理]** - **[新しいアカウントの作成]**

※ユーザー名は半角英数字を入力してください。

作成時、ユーザーに応じてユーザーアカウントの種類（権限）を設定してください。

ユーザーアカウントの種類（権限）には、次の2つがあります。

●管理者


すべてのシステム項目にアクセスし、設定を変更したり、ドライバー、ソフトウェアのインストールをすることができます。

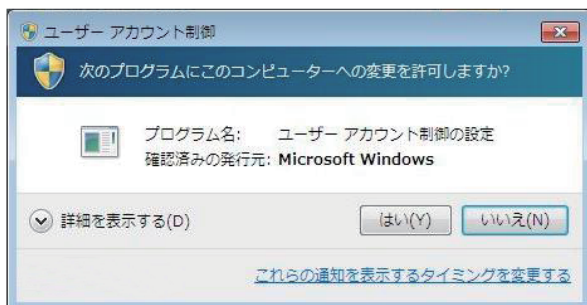
購入時やリカバリー時の Windows のセットアップで入力したユーザー名(アカウント)は、「管理者」になります。

●標準ユーザー

一部のシステム項目の変更や、ドライバー、ソフトウェアのインストールは行うことができません。管理者のパスワードを入力すれば、変更やインストールが可能になります。

ユーザーアカウント制御画面

コントロールパネルなどで  が表示されているシステム項目にアクセスしようとしたり、ドライバやソフトウェアのインストールをしようすると、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。これは、項目にアクセス制限がかけられているためです。



表示される「ユーザーアカウント制御」画面は、ユーザーアカウント（管理者または標準ユーザー）により異なります。本書の手順は、管理者アカウントで Windows にログオンした状態を前提に記載しています。

Windows Live Essentials

本機には、Windows Live の以下のソフトウェアがインストールされています。

- Windows Live Messenger
- Windows Live フォトギャラリー
- Windows Live ムービーメーカー
- Windows Live メール
- Microsoft Silverlight
- Windows Live Mesh
- Windows Live Writer

起動方法

Windows Live の各ソフトウェアは、次の場所から起動します。

【スタート】 - 「すべてのプログラム」

使用方法

各ソフトウェアの使用方法は、次の場所をご覧ください。

- 各ソフトウェアのヘルプ
- Windows Live のヘルプページ
<http://help.live.com>
- Windows Live ポータルサイト
<http://windowslive.jp.msn.com/>
- Windows Live Solution Center
<http://windowslivehelp.com/>

Windows Live ID を作成する

Windows Live を使用するには、Windows Live ID が必要になります。

Windows Live ID は無償で作成することができます。

インターネットへ接続後、各ソフトウェアの「サインイン」画面で作成してください。

次のいずれかのサービスをご利用の場合は、そのアカウントを Windows Live ID として使うことができます。

- MSN Hotmail
- MSN Messenger
- Microsoft Passport

サポートについて

Windows Live のサポートは、マイクロソフト社で行っています。無償サポートは、電子メールのみです。

サポートの詳細は、次の Web ページをご覧ください。

<http://support.live.com>

Windows XP Mode (Windows 7 Professionalのみ)

Windows XP Mode を使用すると、Windows 7 上で Windows XP を起動し、Windows XP のアプリケーションを動作させることができます。

起動方法

Windows XP Mode は、次の場所から起動します。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「Windows Virtual PC」 - 「Windows XP Mode」

※ 初回起動時はセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを行ってください。詳しいセットアップ手順は次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」 - 画面下 「ユーザーサポート」 - FAQ 番号 : 29149

マウスを使う

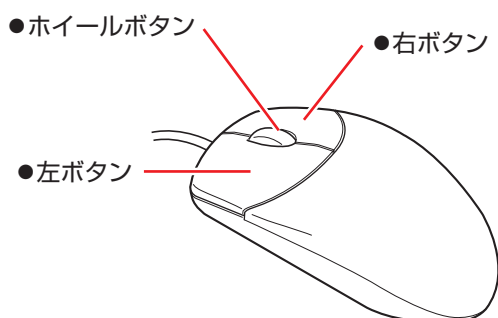
ここでは、一般的なマウスについて説明します。

マウスのマニュアル（冊子またはPDF）が添付されている場合は、本書とあわせてご確認ください。

マウスの操作

！ 制限

- 表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッドの上で使用しないでください。マウスの動きがコンピューターに伝わりません。
- ソフトウェアによっては、ホイールボタンが使用できない場合があります。
- 本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。



マウスの基本的な操作は、次のとおりです。

クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを1回カチッと押します。
ダブルクリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを2回続けてカチカチッと押します。
右クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、右ボタンを1回カチッと押します。
ドラッグアンドドロップ	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを押したままの状態でもうすを移動し、離します。
スクロール	ホイールボタンを指先で前後に動かすと、縦スクロール操作を行うことができます。ホイールボタンをクリックすると、マウスを動かしてオートスクロールを行うこともできます。

マウスの設定変更

マウスボタンの設定や使用環境の変更は、次の場所で行います。

【スタート】 - 【コントロールパネル】 - 【ハードウェアとサウンド】 - 【マウス】

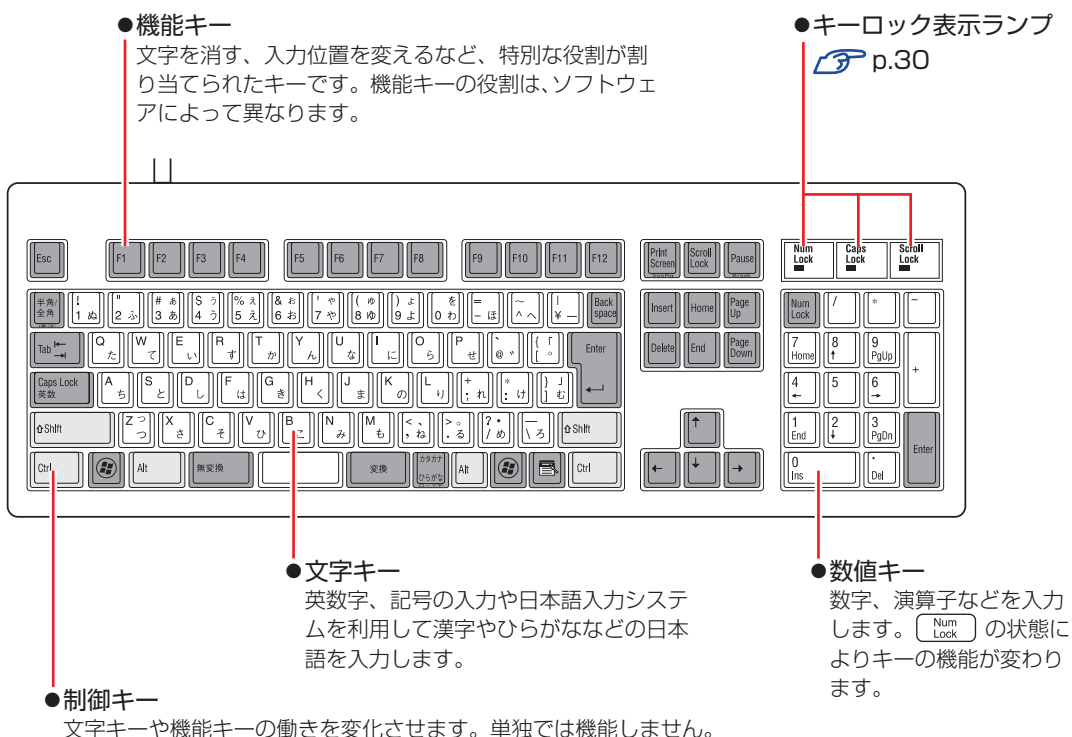
キーボードを使う

ここでは、一般的なキーボードについて説明します。

キーボードのマニュアル（冊子またはPDF）が添付されている場合は、本書とあわせてご確認ください。

キーの種類と役割

各キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。



文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。

入力モードによって、入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。

入力モードの切り替え

を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

日本語を入力するには


ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

MS-IME の使い方

MS-IME パネルの主要なボタンの名称と働きは、次のとおりです。ボタンをクリックして各設定を行ったり、ヘルプを参照したりします。

●入力モード
入力モード（ひらがな、カタカナ、英数字など）を選択します。

●ヘルプ
MS-IME の詳しい説明を見ることができます。



●かなキーロック
日本語入力モードの切り替えを行います。

ボタンが押されていない状態	ローマ字入力
ボタンが押されている状態	かな入力

MS-IME 以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムのマニュアルをご覧ください。

キーロック表示ランプ

キーボード右上の3つのランプは、キーボードの入力状態を表示しています。

Num Lock	役割	数値キーの状態を切り替え
	切り替え	 を押します。
	点灯時	数値を入力
	消灯時	カーソルの位置を制御 数値キーの    などが使えます。
Caps Lock	役割	アルファベットの大文字 / 小文字の切り替え
	切り替え	 +  を押します。
	点灯時	大文字を入力
	消灯時	小文字を入力
Scroll Lock	役割	ソフトウェアによって異なります。
	切り替え	 を押します。

HDD の概要

本機には、記憶装置として HDD（ハードディスクドライブ）が搭載されています。

！ 制限

- HDD アクセスランプ点滅中に、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点滅中は、コンピューターが HDD に対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDD 内部のデータが破損するおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えると HDD が故障するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。また、持ち運ぶときは、電源を切った状態で専用バッグに入れるなどして、保護するようにしてください。
- HDD が故障した場合、HDD のデータを修復することはできません。

データのバックアップ

HDD に記録されている重要なデータは、外付けの記憶装置などにバックアップしておくことをおすすめします。万一 HDD の故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

バックアップ方法は、次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」－「お役立ち」－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」

購入時のHDD領域

購入時の HDD は、次のように設定されています。

ドライブ（領域）	容量
消去禁止領域	約 2.7GB
C ドライブ	残り

すべてのドライブは NTFS ファイルシステムでフォーマットされています。

消去禁止領域とは

「消去禁止領域」には、本体ドライバーやソフトウェアのインストール用データや、「Windows 回復環境（Windows RE）」が設定されています。

この領域は、絶対に削除しないでください。

削除してしまうと、本体ドライバーやソフトウェアのインストールができなくなります。

「消去禁止領域」内の本体ドライバーやソフトウェアのインストール用データは、CD や USB 記憶装置にコピー（バックアップ）することもできます。

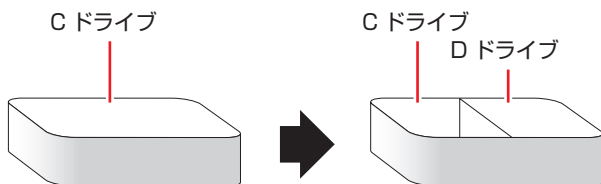


p.107 「消去禁止領域のデータをバックアップする」

HDDを分割して使用する

1 台の HDD は、いくつかの領域に分割して、それぞれ別々のドライブとして使用することができます。

例：1 つの HDD 領域（C ドライブ）を 2 つの HDD 領域（C ドライブと D ドライブ）に分割することができます。



詳しくは、[👉](#) p.109 「HDD 領域の変更」をご覧ください。

USB 機器を使う

本機には USB2.0 に対応した USB コネクターが、前面に 2 個、背面に 4 個、合計 6 個搭載されています。USB コネクターには USB 対応の機器を接続します。6 個の USB コネクターは同じ機能ですので、どのコネクターを使用しても構いません。

！ 制限


- USB フラッシュメモリーや USB HDD などの USB 記憶装置を接続していたり、USB FDD に FD がセットされている状態で本機の電源を入ると、Windows が起動しないことがあります。USB 記憶装置は、Windows 起動後に接続してください。
- USB 記憶装置を接続した状態で Windows を起動したい場合は、「BIOS Setup ユーティリティ」で起動するデバイスの順番を変更してください。
[p.67 「起動 \(Boot\) デバイスの順番を変更する」](#)
- 接続した USB 機器によっては、本機の電源を切った状態でも、ランプが光り続けます。これは、お使いの USB 機器の仕様です。

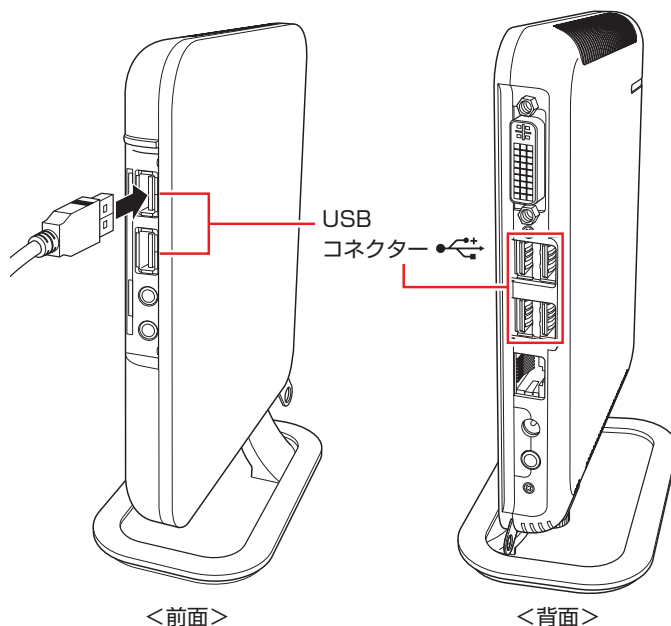
USB機器の接続と取り外し

USB 機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

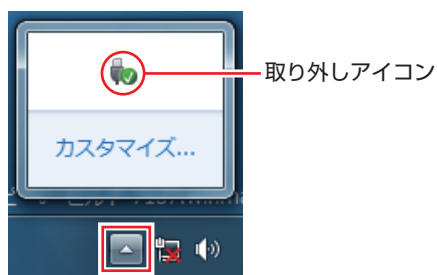
接続

USB 機器の接続方法は、次のとおりです。

- 1** USB 機器の USB コネクターを、本機の USB コネクター（）に接続します。
前面のコネクターは、フロントカバー内に搭載されています。



- 2** USB 機器によっては、通知領域 - [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されます。



接続する USB 機器によっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくは USB 機器のマニュアルをご覧ください。

USB 機器の取り外し

USB 機器の取り外しは、コンピューターの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

●そのまま取り外す

通知領域 - [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った場合はそのまま取り外せます。

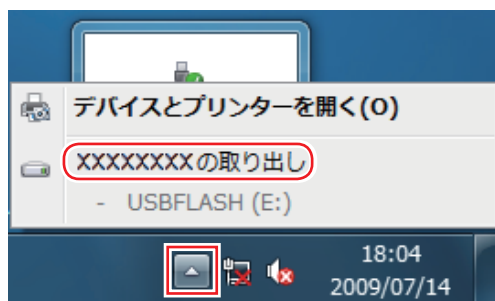
●USB 機器の終了処理をして取り外す

通知領域 - [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されている場合は、終了処理を行います。

USB 機器の終了方法は次のとおりです。

- 1** 「通知領域」 - [△] - 「取り外し」アイコン - 「(取り外したい USB 機器) の取り出し」をクリックします。

複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



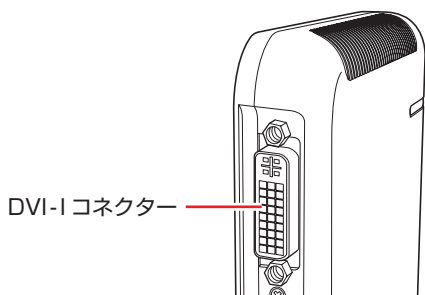
- 2** 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、USB 機器を本機から取り外します。

画面表示機能

本機のマザーボード上には画面表示機能が搭載されています。
ここでは、表示できるディスプレイや解像度などの設定方法について説明します。

ディスプレイの接続

本機背面には DVI-I コネクターが搭載されています。



ディスプレイの接続方法は、次の 2 つです。

- デジタル接続 (DVI-I コネクター)
- アナログ接続 (DVI-I コネクター + DVI-VGA 変換アダプター使用)

表示できる解像度と表示色

本機の画面表示機能で表示可能な解像度と表示色は、次のとおりです。

- 解像度 ピクセル (横×縦)

800 × 600

1024 × 768

1280 × 768 *

1280 × 1024

1366 × 768 *

1600 × 1200

1680 × 1050 *

1920 × 1080 *

1920 × 1200 *

* ワイド表示

- 表示色

中 (16 ビット) / 最高 (32 ビット)

制限

- 記載している解像度は、本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度です。表示モードや接続するディスプレイの仕様によっては、表示できない場合があります。
- 解像度や表示色が高いと、動画再生ソフトで動画を再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度または表示色を下げてください。

表示に関する各種設定

画面表示に関する設定は次の場所で行います。

デスクトップ上の何も無いところで右クリック→「画面の解像度」

ディスプレイ表示の変更

1

検出(C)

識別(I)

ディスプレイ(S): 1. LD1731W

解像度(B): 1280 × 1024 (推奨)

向き(O): 横

詳細設定

テキストやその他の項目の大きさの変更
どのディスプレイ設定を選択しますか?

OK キャンセル 適用(A)

解像度を設定します

使用しているディスプレイの名称

表示機能や表示装置に関する詳細設定を行います (色数やリフレッシュレートなど)

サウンド機能

本機のマザーボード上には、サウンド機能が搭載されています。

本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力するには、スピーカーを接続する必要があります。

オーディオ機器の接続

本機には、オーディオ機器を接続するためのコネクタが装備されています。

各コネクタの位置は、次のとおりです。

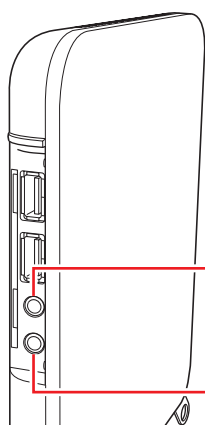



ヘッドホンやスピーカーを使用する場合は、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。


ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。

前面

前面のコネクタはフロントカバー内に搭載されています。




●ヘッドホン出力コネクタ 
スピーカーやヘッドホンを接続して音声を出力します。

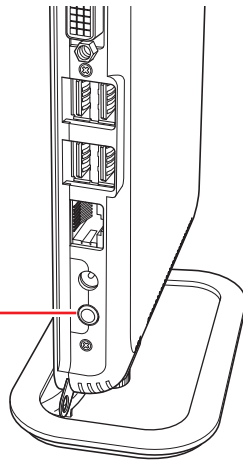
●マイク入力コネクタ 
マイクを接続して音声を入力します。



使用できるマイク

マイク入力コネクタに接続して使用できるマイクは、プラグインパワー対応のコンデンサーマイクです。

- ライン出力コネクター 
スピーカーやヘッドホンを接続して音声を出力します。



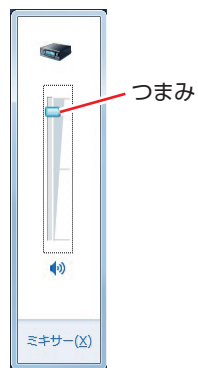
音量の調節

スピーカーを接続していて、Windows 起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の方法で音量を調節します。

画面右下の通知領域に表示されている「スピーカー」アイコン(白色)をクリックすると、「ボリュームコントロール」が表示されます。つまみを上下にドラッグして調節します。



<スピーカーアイコン>



<ボリュームコントロール>

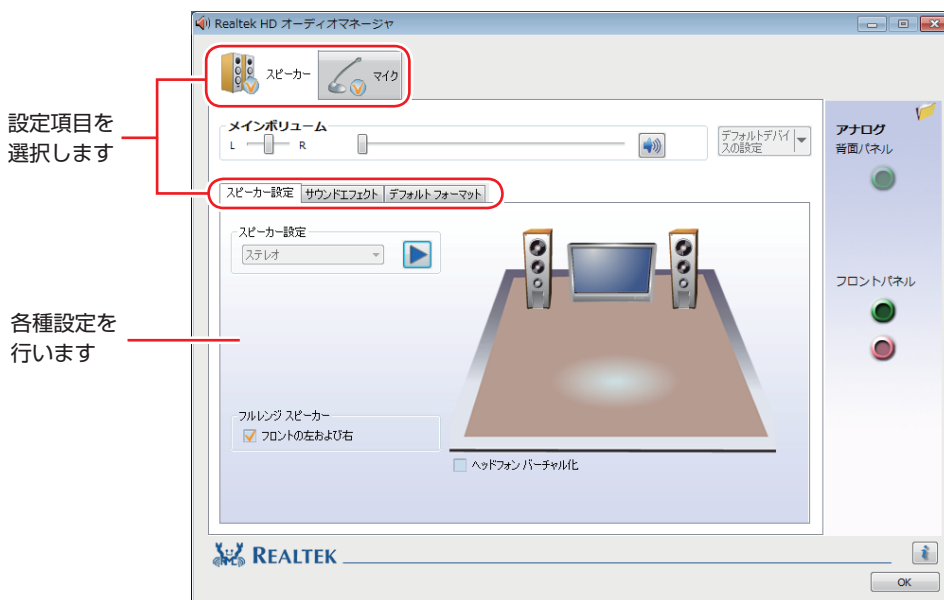
サウンドユーティリティを使う

サウンドユーティリティを使用すると、スピーカーの設定やマイク音量の設定、音響効果の設定などができます。

サウンドユーティリティを起動するには、通知領域 - [△] 内の「Realtek HD オーディオマネージャ」アイコン（赤色）をダブルクリックします。



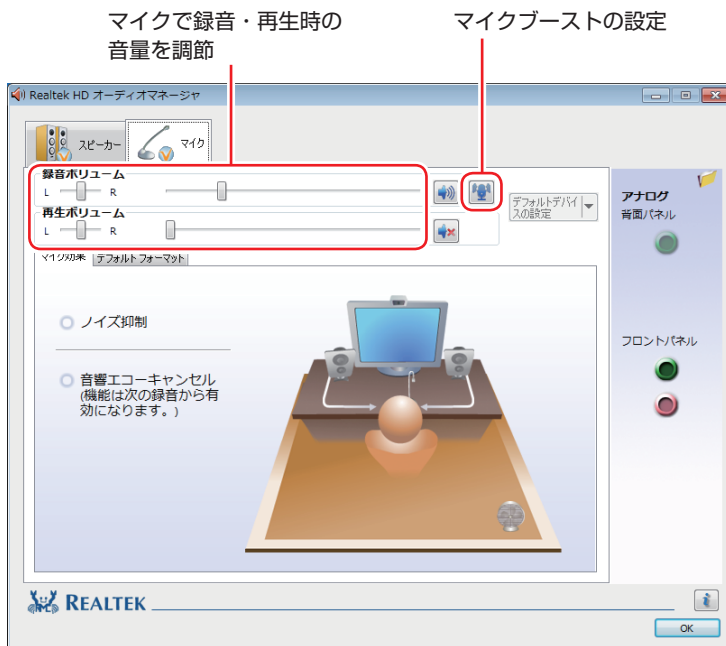
次の画面が表示されます。




※ 「スピーカー」、「マイク」タブは、機器接続時のみ表示されます。

マイク使用時の音量調節

本機にマイクを接続して使用する場合、マイクの音量調節はサウンドユーティリティの「マイク」タブで行います。



※ 「マイク」タブは、マイク接続時のみ表示されます。

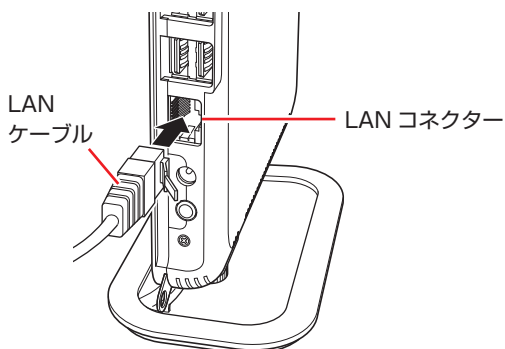
録音時に音量を調節しても音が小さいときは、をクリックしてマイクブーストのつまみを右へスライドさせて、音量を上げてください。

ネットワーク機能

本機のマザーボード上には、1000 Base-T/100 Base-TX/10 Base-Tに対応したネットワーク機能（有線 LAN）が搭載されています。

ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。

ネットワーク機能を使用する場合は、本機背面の LAN コネクタ（品）に市販の LAN ケーブルを接続します。




ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピューターと接続するために、LAN ケーブルやハブ（サーバー）などが必要です。そのほかに、Windows 上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定なども必要になります。

ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器のマニュアルなどをご覧ください。

！ 制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態になると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
 - 再起動する
 - 省電力状態に移行しないように設定する
 p.53 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。
- 本機のネットワーク機能では、リピーター・ハブを使用できません。

インターネットへの接続

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

そのほかの機能

本機では、ネットワークを構築して接続環境を整えると、次の機能を使用できます。

- Wakeup On LAN
- リモートブート

Wakeup On LAN

Wakeup On LAN を使用すると、ネットワークからの信号により本機を起動することができます。



制限


シャットダウン状態からの起動は、Windows を正常に終了した状態でないと行えません。

BIOS の設定変更

Wakeup On LAN を行う場合は、「BIOS Setup ユーティリティ」の次の項目を有効にしてください。

「Power」メニュー画面－「APM Configuration」

「Power On By PCIE Devices」：Enabled（有効）

 p.59 「BIOS Setup ユーティリティの操作」

 p.70 「Power メニュー画面」



参考

Wakeup On LAN を設定している場合

BIOS の設定で、Wakeup On LAN (Power On By PCIE Devices) が有効に設定されているときに、電源コードを抜き、再び接続するとコンピューターが一瞬起動する場合があります。これは、不具合ではありません。

リモートブート

リモートブートを使用すると、ネットワークを介して、あらかじめセットアップされたサーバー上から Windows をインストールすることができます。

インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対する、セキュリティー機能が備えられています。

ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

Windows Update

「Windows Update」は、本機の Windows の状態を確認し、Windows の更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。

Windows を最新の状態にするため、Windows Update を行ってください。

自動更新の設定

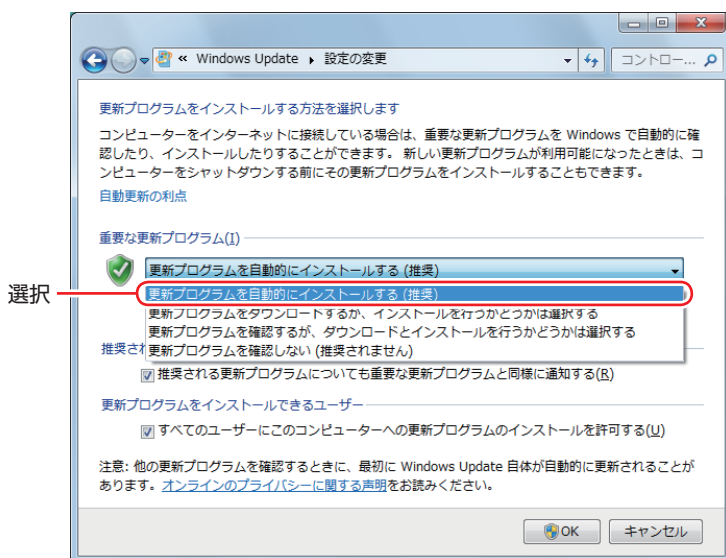
本機を使用する際は、自動で Windows Update が行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムのダウンロードとインストールが自動で行われます。

Windows のセットアップ中に「コンピューターの保護と…」画面で「推奨設定を使用します」を選択した場合は、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

自動更新の設定は、次の場所で行います。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「Windows Update」 - 「設定の変更」



セキュリティソフトウェア


インターネットに接続する場合は、コンピューターウイルス感染や不正アクセスを防ぐため、セキュリティソフトウェアを必ず使用してください。

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を使う

本機には、ファイアウォールやウイルス対策機能を備えた「マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版」がインストールされています。

※ NB50E の場合、購入時の選択によっては、インストールされていません。

マカフィー・PC セキュリティセンターのユーザー登録

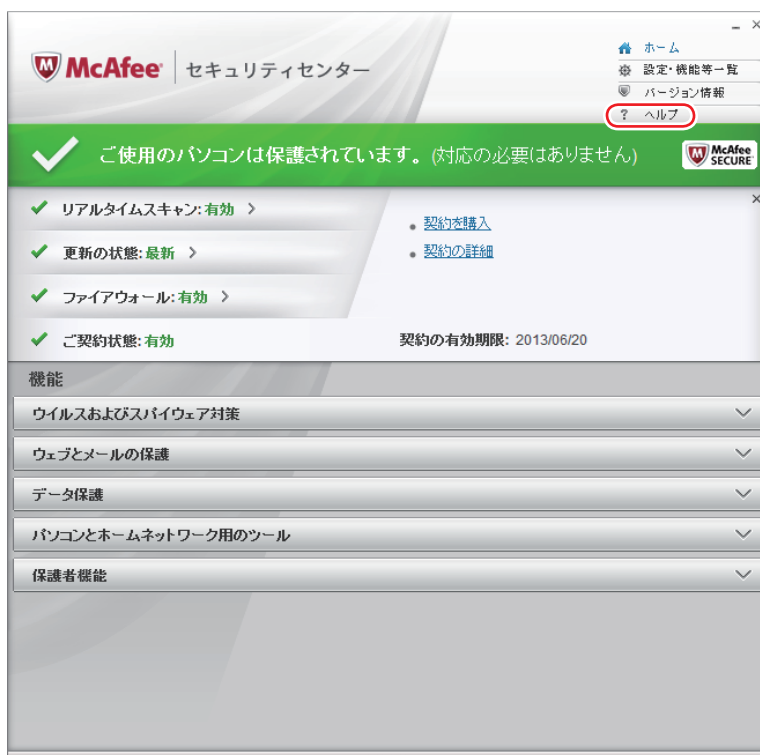
マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を使用するには、ユーザー登録が必要です。インターネットに接続後、画面右下、通知領域の McAfee アイコン () をダブルクリックして、ユーザー登録を行ってください。



ユーザー登録を行わないと、製品の更新ができません。また、サポートセンターへの問い合わせにもユーザー登録が必要です。登録しないまま 2 週間以上経過すると、ソフトウェアの自動更新が停止し、最新のセキュリティで保護されなくなります。

マカフィー・PC セキュリティセンターの使用方法

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版の使用方法は、「ヘルプ」をご覧ください。



Windows のセキュリティー機能の設定

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版には Windows のセキュリティー機能と同等の機能が備えられています。マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版がインストールされていると、次の Windows の機能は「無効」に設定されます。

- Windows ファイアウォール
- Windows Defender

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版の機能によりコンピューターのセキュリティーは守られていますので、Windows の機能は「無効」のままお使いください。

マカフィー・PC セキュリティセンターを一時的に無効にするには

お使いのソフトウェアなどで、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を「無効」にするよう指示があった場合は、一時的にマカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版の機能を「オフ」にします。手順は、「ヘルプ」で確認してください。

機能を「オフ」にすると、セキュリティーが確保されなくなります。安全を十分に確認した上で設定し、作業が終わったら、必ず「オン」に戻してください。

マカフィー・PC セキュリティセンターのアンインストール

市販のセキュリティーソフトウェアを使用する場合や、お使いのソフトウェアなどで指示があった場合には、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版をアンインストールします。アンインストール方法は、次のとおりです。

- 1** [スタート] – 「コントロールパネル」 – 「プログラムのアンインストール」をクリックします。
- 2** 「プログラムのアンインストールまたは変更」と表示されたら、「マカフィーセキュリティセンター」を選択して [アンインストールと変更] をクリックします。
- 3** 「McAfee ソフトウェアを削除」と表示されたら、削除するプログラムを選択し、[削除] をクリックします。
- 4** 「有効な契約が残っています。」と表示されたら、内容を確認し、[削除] をクリックします。
- 5** 「ソフトウェアが削除されました。」と表示されたら、[今すぐ再起動] をクリックします。

コンピューターが再起動したら、アンインストールは完了です。

90 日間限定版（無料体験版）が期限切れしたら


マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日間限定版には、一定の有効期間（製品使用開始から 90 日間）が設定されています。

有効期限が切れた場合は、定義ファイルの更新やソフトウェアの自動バージョンアップが行われなくなるため、最新のウイルスやスパイウェアなどの脅威に対応することができなくなり、大変危険です。

90 日間限定版の有効期限が切れた場合は、有効期限の継続手続きを行うことをおすすめします。更新は有償になります。

更新手続きを行うことにより、最新の脅威に対応できるようになります。

マカフィー・PC セキュリティセンターの再インストール

Windows の再インストールをしたら、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日間限定版をインストールします。インストール方法は、 p.84 「ドライバー/ソフトウェアのインストール」をご覧ください。

マカフィー製品のサポート

正しく動作しない場合など、マカフィー製品に関するご相談については、下記へお問い合わせください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

●マカフィー・インフォメーションセンター

マカフィー製品購入前のマカフィー製品に関するお問い合わせ

マカフィー・サポート Web

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

E-mail によるお問い合わせフォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp

電話ナビダイヤル : 0570-010-220

IP 電話、光電話の場合 : 03-5428-1899

受付時間 9:00 ~ 17:00（土・日・祝祭日を除く）

●マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

対応内容登録方法に関するご相談やお客さま登録情報の変更など

マカフィー・サポート Web

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

E-mail によるお問い合わせフォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp

電話ナビダイヤル : 0570-030-088

IP 電話、光電話の場合 : 03-5428-1792

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く)

●マカフィー・テクニカルサポートセンター

対応内容ソフトウェアの操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ

マカフィー・サポート Web

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

マカフィー・チャットサポート

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp>

E-mail によるお問い合わせフォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp

電話ナビダイヤル : 0570-060-033


IP 電話、光電話の場合 : 03-5428-2279

受付時間 9:00 ~ 21:00 (年中無休)

(FAX によるお問い合わせは受け付けておりません)

市販のセキュリティーソフトウェアを使う

市販のセキュリティーソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版をアンインストール (削除) してください。

 p.45 「マカフィー・PC セキュリティセンターのアンインストール」

Webフィルタリングソフトウェア

Web フィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを表示しないようにするための技術です。Web フィルタリングを行うと、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

i-フィルター 30 日版を使う

本機には、Web フィルタリング機能を持つ「i-フィルター 30 日版」が添付されています。家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへアクセスするのを制限したいときなどは、i-フィルター 30 日版を使用することをおすすめします。

i-フィルター 30 日版のインストール

購入時、i-フィルター 30 日版はインストールされていません。Windows セットアップ後に表示される「初期設定ツール」からインストールします。ツールは次の場所から起動することができます。

【スタート】 - 「すべてのプログラム」 - 「初期設定ツール」

Windows の再インストール時は、次の場所をご覧ください。

 p.84 「ドライバー/ソフトウェアのインストール」

市販の Web フィルタリングソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、i-フィルター 30 日版はインストールしないでください。

i-フィルター 30 日版のユーザー登録

i-フィルター 30 日版を使用するには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録はインターネットに接続した状態で行います。ユーザー登録の方法は、次のとおりです。

- 1** デスクトップ上の「i-フィルター」アイコンをダブルクリックします。



<i-フィルターアイコン>

- 2** 「i-フィルター…」画面が表示されたら、「使用許諾契約及び個人情報の取り扱いについて」をよくお読みになり、「[i-フィルター…] お試し版を登録する」をクリックします。
- 3** 「[i-フィルター] の開始」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってユーザー登録を行ってください。

i-フィルター 30 日版の使用方法

i-フィルター 30 日版をインストールすると、フィルター設定が有効になり、有害サイトにアクセスしようとする時、自動的にブロックされます。

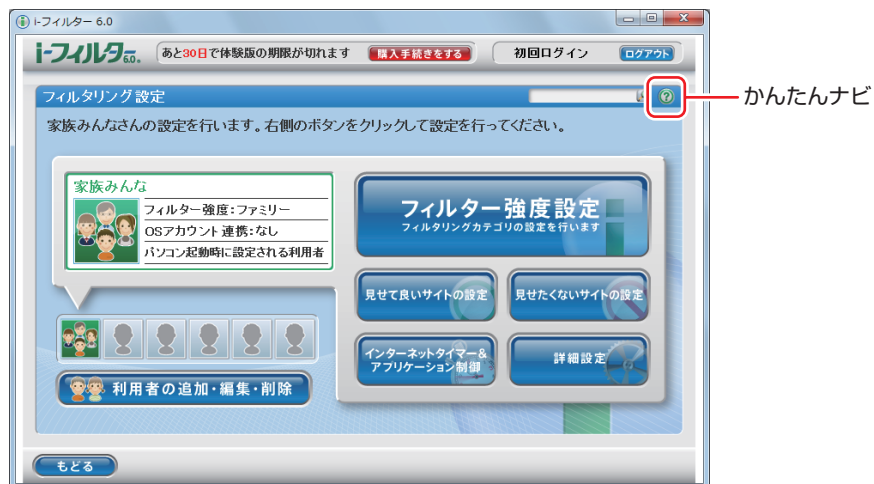
初期設定では、フィルター強度は「ファミリー」です。フィルター強度は、利用者別に設定できます。必要に応じて、「フィルタリング設定」画面で設定を変更してください。

「フィルタリング設定」画面の表示方法は、次のとおりです。

- 1** デスクトップ上の「i-フィルター」アイコンをダブルクリックします。
- 2** ログイン画面が表示されたら、E-Mail アドレスと管理パスワードを入力して【ログイン】をクリックします。
- 3** i-フィルターのトップページが表示されたら、「フィルタリング設定」をクリックします。

「フィルタリング設定」画面が表示されます。

i-フィルター 30 日版の詳しい使用法は、「かんたんナビ」をご覧ください。



参考

ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は

セキュリティーソフトウェアのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i-フィルター 30 日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。


この場合は、「i-フィルター 30 日版」の使用を許可してください。

i-フィルター 30 日版の利用期限

i-フィルター 30 日版の利用期限は、ユーザー登録後 30 日間です。利用期限が過ぎると、フィルター機能が停止します。

継続して利用する場合

継続利用の手続き（有償）をオンラインで行ってください。

 p.50 「i-フィルター 30 日版のサポート」




制限

本機に添付の i-フィルター 30 日版は、「i-フィルター更新パック」で継続利用
手続きを行うことはできません。

継続して利用しない場合

i-フィルター 30 日版のアンインストールを行ってください。

i-フィルター 30 日版のアンインストール方法は、デジタルアーツ社のホームページの「よくある質問」をご覧ください。

 p.50 「i-フィルター 30 日版のサポート」

i-フィルター 30 日版のサポート

i-フィルター 30 日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。

よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。

なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

<http://www.daj.jp/cs/support.htm>

省電力機能



ここでは、本機の省電力機能について説明します。

省電力状態

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような制限事項があります。移行する前に、確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
 - ・周辺機器を接続している
 - ・ソフトウェアを起動している
- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。
 -  p.53 「時間経過で移行させない」
 - ・サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
 - ・外部接続記憶装置（USB HDD や外付け光ディスクドライブなど）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
 - ・ネットワーク機能などを使っての通信時：通信が切断される可能性
 - ・動画再生時：コマ落ちしたりソフトウェアの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
 - ・省電力状態で周辺機器などの抜き差しを行った場合
 - ・ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
 - ・再起動する
 - ・省電力状態に移行しないように設定する
 -  p.53 「時間経過で移行させない」

省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- ディスプレイの電源を切る
省電力の効果はスリープより低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。

●スリープ

作業中の内容を一時的に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

スリープには次の2つがあり、作業中の内容の保存方法が異なります。

•ハイブリッドスリープ（初期値）

スリープと休止状態を合わせた状態です。

作業中の内容はメモリーとHDDの両方に保存されます。

•スリープ

作業中の内容はメモリーのみに保存されます。

●休止状態

作業内容をHDDに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

休止状態を有効にする

本機では、休止状態が無効に設定されています。休止状態を有効にするには設定を行ってください。



制限

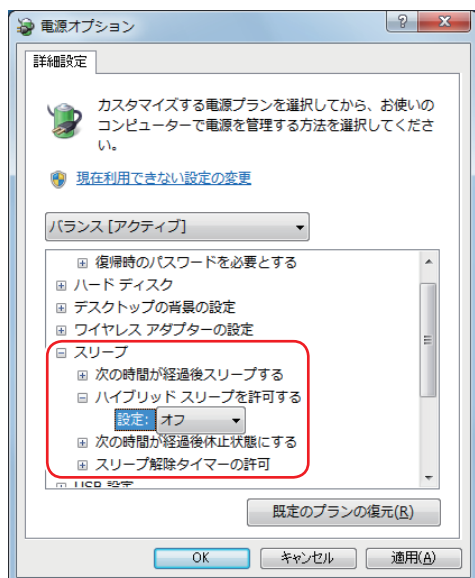
休止状態を有効にすると、スリープ状態がハイブリッドスリープからスリープに変わります。



p.51「省電力状態の種類」

休止状態を有効にする方法は次のとおりです。

- 1** [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「電源オプション」で、休止状態を有効にしたいプランの「プラン設定の変更」をクリックし、「詳細な電源設定の変更」をクリックします。
- 2** 「スリープ」 - 「ハイブリッドスリープを許可する」を「オフ」に設定します。
- 3** [OK] をクリックします。



省電力状態に移行する方法

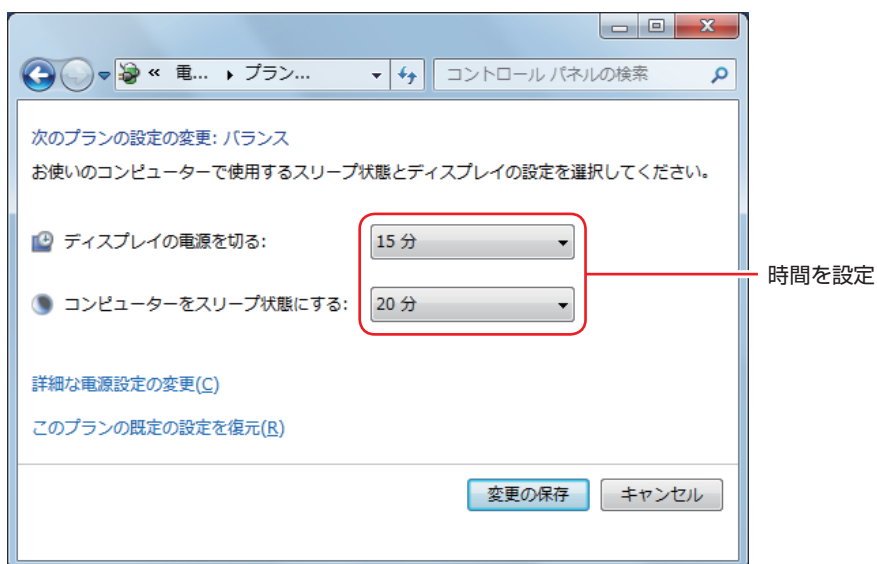
本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で、時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープ状態になります。

省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

【スタート】－「コントロールパネル」－「システムとセキュリティ」－「電源オプション」－各プランの「プラン設定の変更」



時間経過で移行させない

外部接続記憶装置（USB HDD や外付け光ディスクドライブなど）へ書き込みを行う場合は、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間を全て「なし」に設定してください。

直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

操作	省電力状態の種類
【スタート】－【>】から項目を選択する	スリープ、休止状態*

* 購入時は表示されません。

電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源ランプで確認できます。

電源の状態	電源ランプの表示
通常	点灯（青色）
ディスプレイの電源切	点灯（青色）
スリープ	点滅（青色）
休止状態	消灯
シャットダウン（電源切）	消灯

省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次の通りです。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源切	点灯（青色）	マウスやキーボードを操作する
スリープ	点滅（青色）	●電源スイッチを押す ●キーボードを操作またはマウスをクリックする
休止状態	消灯	電源スイッチを押す

Endeavor 電源プラン設定ツール

本機には節電設定を行うための「Endeavor 電源プラン設定ツール」が添付されています。Endeavor 電源プラン設定ツールでは、3つのおすすめ電源プランや、お客様ご自身で新規に作成するプランの中から、使い方に合った節電プランを設定することができます。詳しくは、次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」 - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 21091

インストール

Endeavor 電源プラン設定ツールを使用するには、インストールが必要です。購入時は、Windows セットアップ後に表示される「初期設定ツール」からインストールします。初期設定ツールは次の場所から起動することができます。

【スタート】 - 「すべてのプログラム」 - 「初期設定ツール」

Windows の再インストール時は、次の場所をご覧ください。

 p.84 「ドライバー/ソフトウェアのインストール」

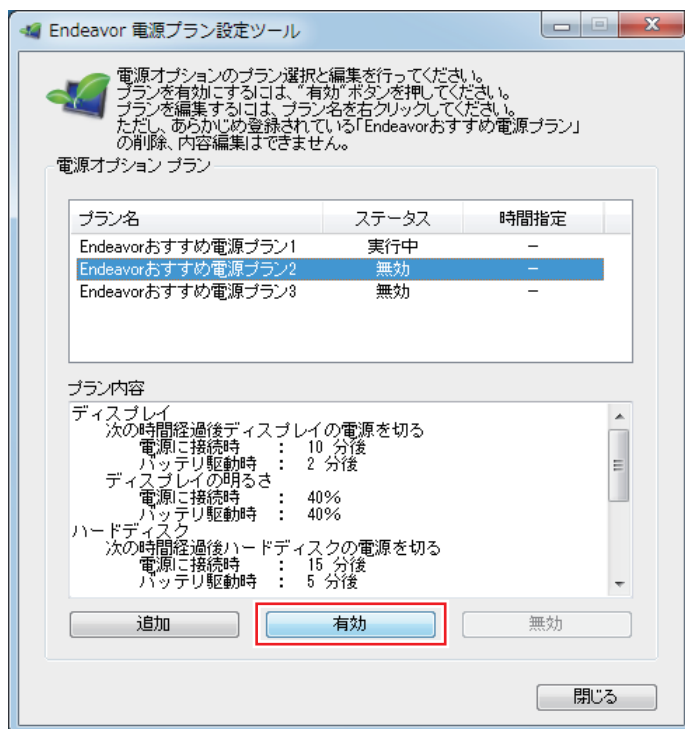
プランの変更方法

Endeavor 電源プラン設定ツールをインストールすると、「Endeavor おすすめ電源プラン1」が有効になります。必要に応じて、「Endeavor 電源プラン設定ツール」画面で設定を変更してください。

変更方法は、次のとおりです。

1 [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「EPSON DIRECT」 - 「Endeavor 電源プラン設定ツール」をクリックします。

2 変更したいプランを選んで [有効] をクリックします。



おすすめプランの内容や新規プラン作成方法は、次の場所をご覧ください。

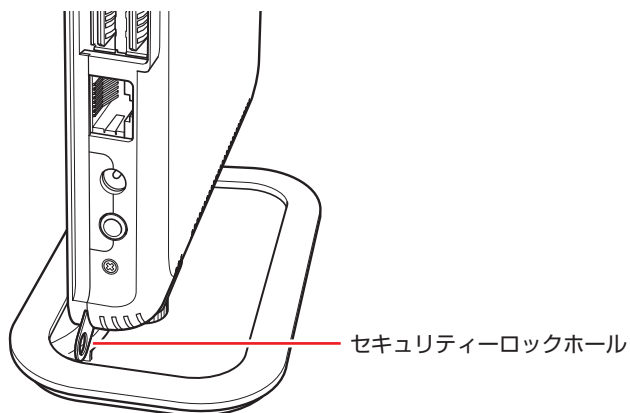


「PC お役立ちナビ」 - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 21091

そのほかの機能

セキュリティーロックホール

本機背面には、セキュリティーロックホールが搭載されています。
セキュリティーロックホールには、5mm以下の軸径の南京錠を取り付けることができます。



当社では、南京錠タイプの盗難抑止ワイヤー（セキュリティーロック）を取り扱っています。
詳しくは当社のホームページをご覧ください。
ホームページのアドレスは次のとおりです。

<http://shop.epson.jp/>

2

BIOS の設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「BIOS」の設定を変更する方法について説明します。

BIOS の設定を始める前に.....	58
BIOS Setup ユーティリティの操作.....	59
BIOS Setup ユーティリティの設定項目	69

BIOS の設定を始める前に



制限

当社製以外の BIOS を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の BIOS へのアップデートは絶対に行わないでください。

BIOS は、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。

BIOS の設定は「BIOS Setup ユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。BIOS の設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合

BIOS の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

BIOS Setup ユーティリティで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。



参考

リチウム電池の寿命

BIOS Setup ユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、本機のリチウム電池の寿命は約 5 年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。

そのような場合は、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、設定値を戻すことができます。

 p.63 「Load Optimal Defaults (BIOS の初期値に戻す)」

 p.64 「Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)」

BIOS Setup ユーティリティの操作

ここでは、「BIOS Setup ユーティリティ」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- パスワードを設定する
- HDD アクセス制限
- 起動（Boot）デバイスの順番を変更する

BIOS Setupユーティリティの起動

本機の電源を入れる前に、キーボードの **Delete** の位置を確認してください。

2 ではすばやく **Delete** を押す必要があります。

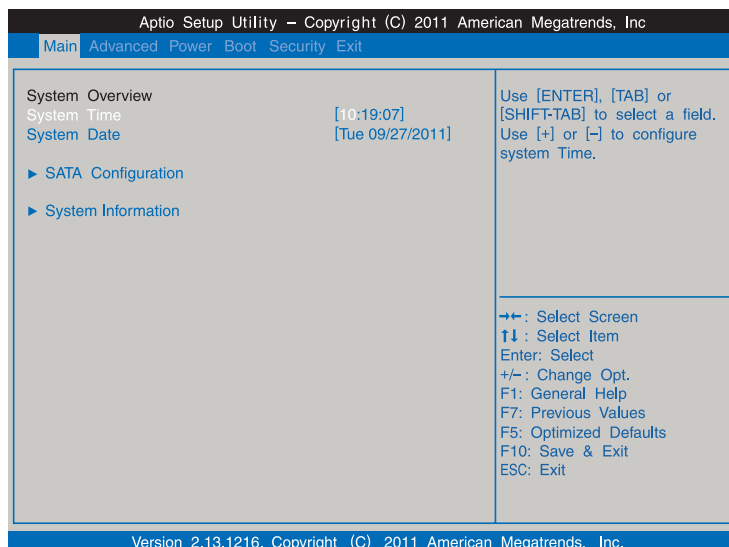
1 本機の電源を入れます。

すでに Windows が起動している場合は再起動します。

2 本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに **Delete** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。

Windows が起動してしまった場合は、再起動して **2** をもう 1 度実行してください。


3 「BIOS Setupユーティリティ」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。



< BIOS Setup ユーティリティ画面 (イメージ) >

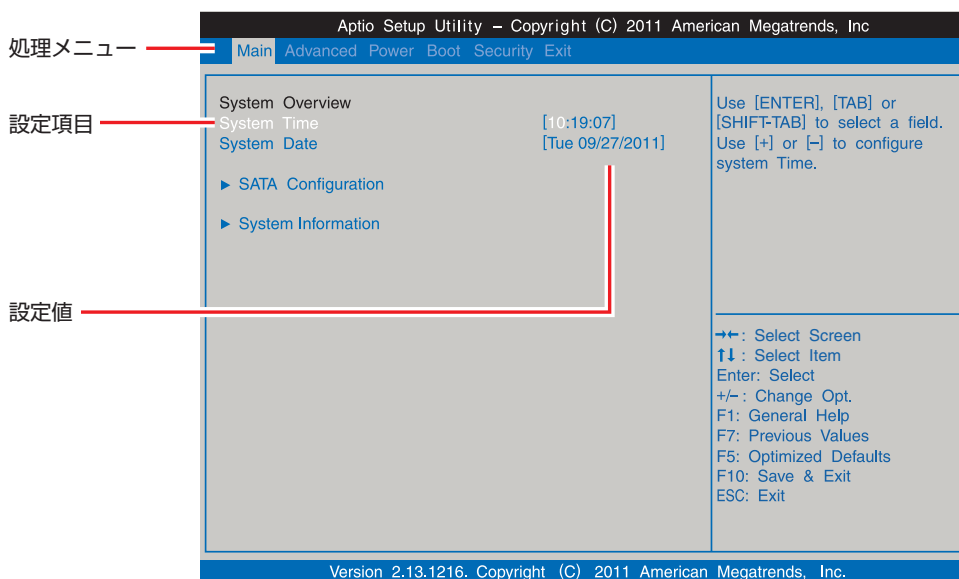
BIOS Setupユーティリティーの操作

「BIOS Setup ユーティリティー」の操作は、キーボードで行います。

ここで説明している画面は、イメージです。実際の設定項目とは異なります。各メニュー画面と設定項目の説明は、 p.69 「BIOS Setup ユーティリティーの設定項目」をご覧ください。

画面の構成

BIOS Setup ユーティリティーを起動すると次の画面が表示されます。
この画面で設定値を変更することができます。



<メニュー画面>

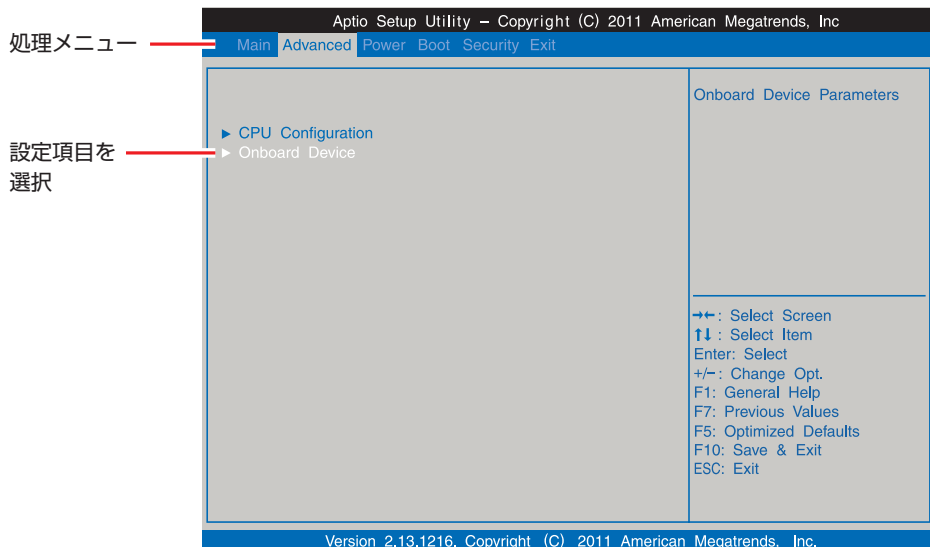
操作方法

BIOS Setup ユーティリティの操作方法は次のとおりです。

- 1 変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択し、設定項目を選択します。

→ ← でメニュー間を移動します。

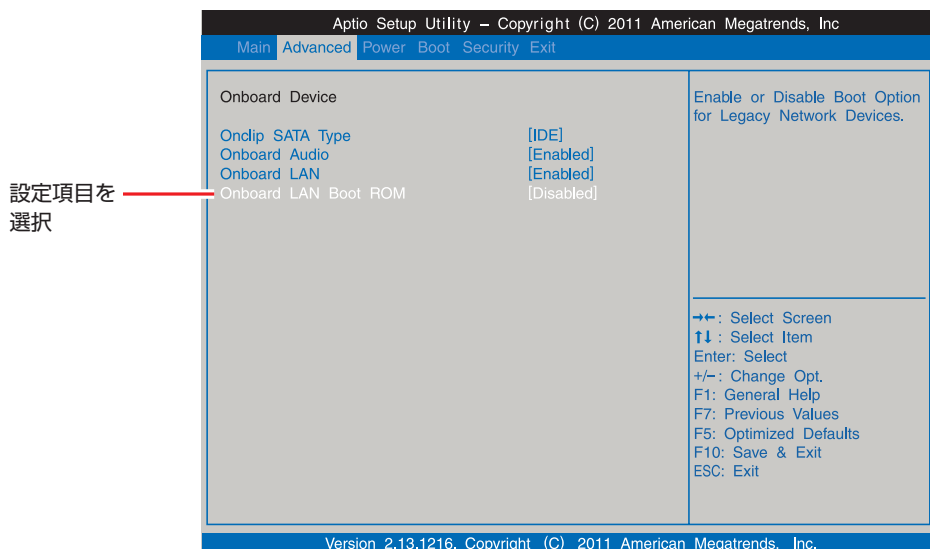
↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。



<メニュー画面>

▶ のある項目の場合

▶ のある項目の場合、↵ を押すとサブメニュー画面が表示されます。↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。



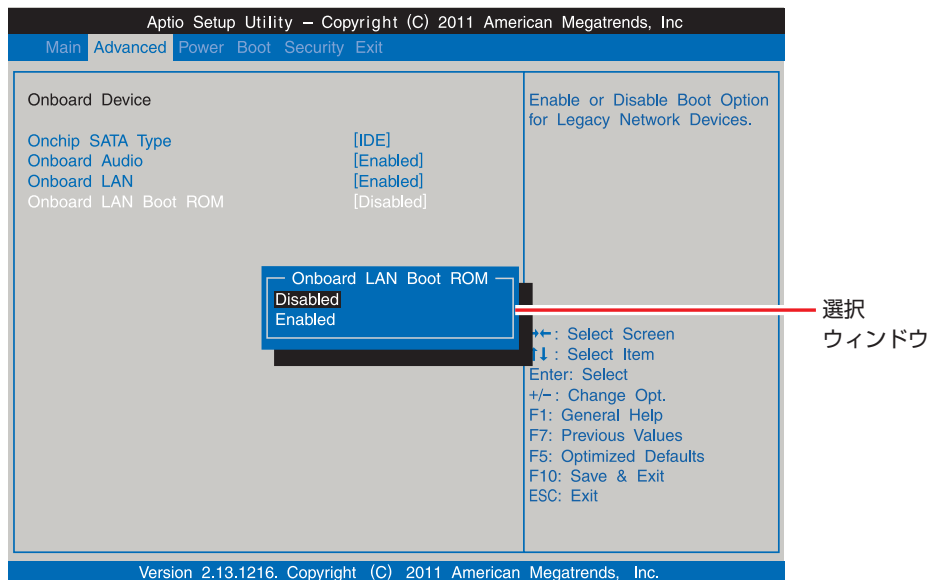
<サブメニュー画面>

サブメニュー画面から戻るには [Esc] を押します。



2 設定値を変更します。

← を押して選択ウィンドウを表示し、↑ ↓ で値を選択し ↵ で決定します。



キー操作

BIOS の画面を操作するときは、次のキーを使用します。

キー	操作できる内容
Esc	<ul style="list-style-type: none">変更した内容を破棄し、終了します。サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。
↑ , ↓	設定を変更する項目を選択します。
← , →	処理メニューを選択します。
- , +	項目の値を変更します。
↵	<ul style="list-style-type: none">メニュー画面中の ▶ のある項目で押すとサブメニュー画面を表示します。選択項目の選択ウィンドウを表示します。設定値を選択します。
F1	ヘルプを表示します。
F5	全設定項目の値を初期値に変更します。
F7	前回保存した設定値に戻します。
F10	変更した設定値を保存して終了します。

BIOS Setupユーティリティの終了

「BIOS Setup ユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

Save Changes and Exit (変更した内容を保存し終了する)

変更した設定値を保存して、BIOS Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **F10** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Save Changes and Exit」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Save configuration and exit ?	
[OK]	[Cancel]

- 2 **OK** を選択し、**Enter** を押します。
「BIOS Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

Discard Changes and Exit (変更した内容を破棄し終了する)

変更した設定値を保存せずに、BIOS Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **Esc** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Discard Changes and Exit」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Discard changes and Exit setup?	
[OK]	[Cancel]

- 2 **OK** を選択し、**Enter** を押します。
「BIOS Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

設定値を元に戻す

「BIOS Setup ユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、設定値を BIOS の初期値や前回保存した値に戻すことができます。

Load Optimal Defaults (BIOS の初期値に戻す)

設定値を BIOS の初期値に戻す方法は、次のとおりです。

※「Security」メニュー画面の項目を BIOS の初期値に戻すことはできません。

- 1 **F5** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Load Optimal Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Load Setup Defaults ?	
[OK]	[Cancel]

- 2 **OK** を選択して、**Enter** を押します。
これで設定値が「BIOS の初期値」に戻ります。

Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)

設定値を前回保存した値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 **F7** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Discard Changes ?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 **[Ok]** を選択して、**↵** を押します。
これで設定値が「前回保存した値」に戻ります。

パスワードを設定する

「Security」メニュー画面でパスワードを設定すると、BIOS や Windows の起動時にパスワードを要求されるようになります。


パスワードの設定は、次のような場合に行います。

- 本機を使用するユーザーを制限したいとき
- パスワードを設定しないと使用できない機能を使いたいとき
(HDD アクセス制限など)

パスワードの種類

パスワードには次の2種類があります。

- Supervisor Password (管理者パスワード)
コンピューターの管理者用のパスワードです。管理者パスワードで BIOS にログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。
- User Password (ユーザーパスワード)
一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードで BIOS にログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます (権限は、設定変更することができます)。

 p.65 「ユーザーパスワードの権限設定」

パスワードの設定方法

パスワードの設定方法は、次のとおりです。




設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、BIOS の設定変更や、設定によっては Windows の起動ができなくなります。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードの設定方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを設定すると、ユーザーパスワードや HDD アクセス制限などが設定できるようになります。

- 1 「Security」メニュー画面－「Change Supervisor Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter New Password


- 2 パスワードを入力し、  を押します。

「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用できるのは英数字だけです。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは8文字まで入力可能です。

パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。

- 3 続いて次のメッセージが表示されます。確認のためにもう一度同じパスワードを入力し、  を押します。


Confirm New Password

同じパスワードを入力しないと、「Password does not match !」というメッセージが表示されます。[Ok] が選択された状態で  を押すと、BIOS のメニュー画面に戻ります。この場合、1 からやりなおしてください。


パスワードの設定が完了すると、「Supervisor Password」項目の値が「Password Installed」に変わります。

パスワード入力タイミングの設定

BIOS Setup ユーティリティ起動時や、Windows 起動時など、どのタイミングでパスワードを要求するかを設定します。

 p.74 「Securityメニュー画面」－「Password Check」

ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードは、 p.65 「管理者パスワードの設定」－1 で「Change User Password」を選択し、管理者パスワードと同様の手順で設定します。

ユーザーパスワードの権限設定

ユーザーパスワードを設定した場合は、ユーザーパスワードで BIOS にログオンしたときの権限（項目の閲覧や変更に関する制限）を設定します。

 p.74 「Securityメニュー画面」－「User Access Level」

パスワードの削除方法

パスワードの削除方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードで BIOS にログオンしてください。

※ HDD アクセス制限やユーザーパスワードを設定している場合、管理者パスワードを削除すると、自動的に HDD アクセス制限やユーザーパスワードも削除（解除）されます。

- 1 「Security」メニュー画面－「Change Supervisor Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter New Password

- 2 何も入力せずに  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Confirm New Password

- 3 何も入力せずに  を押します。

「Supervisor Password」の表示が「Password Not Installed」に変わります。

これで管理者パスワードが削除されました。

ユーザーパスワードや HDD アクセス制限を設定している場合は、「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わり、再起動後に「Hard Disk Protection」項目は [Disabled] になります。

HDDアクセス制限

HDD アクセス制限を設定すると、次の状態になります。

- BIOS や Windows 起動時、休止状態からの復帰時に管理者パスワードを要求される
- HDD をほかのコンピューターに接続した場合、認識されなくなる

HDD への無断アクセスや、万が一 HDD が盗難にあった場合の情報流出を防ぎたいときは、HDD アクセス制限を設定します。

HDD アクセス制限の設定 / 解除方法

HDD アクセス制限の設定 / 解除方法を説明します。



制限

- ・パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定した HDD は使用できなくなります。登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。
- ・HDD を増設・交換する際は、HDD へのアクセス制限を解除した状態で行ってください。

設定方法

HDD アクセス制限の設定方法は次のとおりです。

- 1 本機の電源を切ります。

本機を一度シャットダウンしないと、HDD アクセス制限は正常に設定できません。必ずシャットダウンしてから設定を行ってください。

- 2 「BIOS Setup ユーティリティー」を起動します。

- 3 管理者パスワードを設定します。

 p.64 「パスワードの設定方法」

- 4 「Security」メニュー画面－「Hard Disk Protection」を「Enabled」に設定します。

 p.74 「Security メニュー画面」

- 5** BIOS Setup ユーティリティを終了します。
- 6** Windows が起動したら、本機の電源を切ります。
最後に本機をシャットダウンしないと、設定が有効になりません。

解除方法

HDD アクセス制限の解除方法は次のとおりです。

- 1** 本機の電源を切ります。
本機を一度シャットダウンしないと、HDD アクセス制限は解除できません。
必ずシャットダウンしてから解除を行ってください。
- 2** 「BIOS Setup ユーティリティ」を起動します。
- 3** 「Security」メニュー画面－「Hard Disk Protection」を「Disabled」に設定します。
 p.74 「Security メニュー画面」
- 4** BIOS Setup ユーティリティを終了します。
- 5** Windows が起動したら、本機の電源を切ります。
最後に本機をシャットダウンしないと、設定が有効になりません。

起動(Boot)デバイスの順番を変更する

本機の電源を入れて起動しようとしたときに、USB 記憶装置（USB フラッシュメモリーや USB HDD など）を接続していたり、USB FDD に FD がセットされていると、Windows が起動しないことがあります。

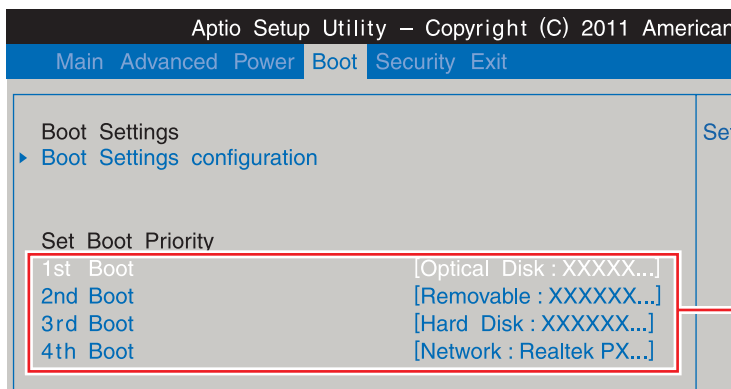
このような場合、「BIOS Setup ユーティリティ」で設定されている起動（Boot）デバイスの順番を変更すると、起動したいデバイスからシステムを起動することができます。

起動（Boot）デバイスの順番とは

電源を入れると、コンピューターは起動デバイスの順番に従ってデバイスを確認し、最初に見つけたシステム（OS）から起動します。

起動デバイスの順番は、「Boot」メニュー画面－「Set Boot Priority」で設定されています。

 p.71 「Boot メニュー画面」



この順番にデバイスを検出して起動します。

<イメージ>

順番の初期値は次のとおりです。

- 1 番目：Optical Disc（外付け光ディスクドライブ）
- 2 番目：Removable（USB 記憶装置）
- 3 番目：Hard Disk（HDD）
- 4 番目：Network（ネットワーク）

起動（Boot）デバイスの順番の変更方法

起動デバイスの順番の変更方法は、次のとおりです。ここでは USB 記憶装置を接続した状態で Windows を起動できるように、1 番目に起動するドライブを外付け光ディスクドライブ、2 番目に起動するドライブを HDD に設定する方法を説明します。

1 「Boot」メニュー画面で「Set Boot Priority」を選択し、**←** を押します。

2 サブメニュー画面が表示されたら、現在の起動の順番を確認します。

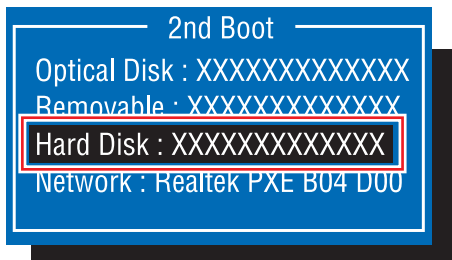
1 番目は外付け光ディスクドライブとして以降を説明します。

3 HDD の順番を 2 番目に設定します。

1 **↑** **↓** で「2nd Boot」（2 番目）を選択し、**←** を押します。

2 選択ウィンドウが表示されたら、**↑** **↓** で「Hard Disk」を選択し、**←** を押します。

HDD の順番が 2 番目になります。



<選択ウィンドウ>

4 **F10** を押して BIOS Setup ユーティリティを終了します。

 p.63 「BIOS Setup ユーティリティの終了」

これで、起動デバイスの変更は完了です。

BIOS Setup ユーティリティの設定項目

ここでは、「BIOS Setup ユーティリティ」で設定できる項目と、設定方法などについて説明します。BIOS Setup ユーティリティには、次の6つのメニューがあります。

- Main メニュー画面
日時やドライブの設定を行います。
- Advanced メニュー画面
CPU やマザーボード上のデバイスの設定を行います。
- Power メニュー画面
省電力機能や起動に関する設定を行います。
- Boot メニュー画面
システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。
- Security メニュー画面
セキュリティに関する設定を行います。
- Exit メニュー画面
BIOS Setup ユーティリティを終了したり、BIOS の設定値を初期値に戻したりします。

Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日時やドライブの設定を行います。設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
* は項目表示のみ

System Time	時刻を設定します。(時間 : 分 : 秒)
System Date	日付を設定します。(曜日 月 / 日 / 年)
SATA Configuration	本機に搭載されているドライブの情報が表示されます。
SATA Port0	HDD の情報が表示されます。
* MODEL	HDD の型番
* SIZE	HDD の容量
System Information	本機のシステム情報が表示されます。
* Version	BIOS のバージョン
* Build Date	BIOS のバージョンの制定日
Memory Information	本機に搭載されているメモリーの情報が表示されます。
* Total Memory	メモリー容量

Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、CPU やマザーボード上のデバイスの設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。


■ は初期値
*は項目表示のみ

CPU Configuration	本機に搭載されている CPU の情報が表示されます。
* Manufacturer	CPU のメーカー CPU の型番
* Max Speed Intended Speed Min Speed	CPU のスピード
* Cache per Core	CPU のキャッシュ容量が表示されます。
* L1 Instruction Cache L1 Data Cache L2 Cache	CPU のキャッシュ容量
Onboard Device	マザーボード上のデバイスの設定をします。
OnChip SATA Type	初期値 [IDE] のままで使用します。
Onboard Audio	マザーボード上のサウンド機能を使用するかどうかを設定します。 Disabled : 使用しません。 Enabled : 使用します。
Onboard LAN	マザーボード上のネットワーク機能を使用するかどうかを設定します。 Disabled : 使用しません。 Enabled : 使用します。
Onboard LAN Boot ROM	リモートブート機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled : 無効にします。 Enabled : 有効にします。

Powerメニュー画面

「Power」メニュー画面では、省電力機能や起動に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
*は項目表示のみ

ACPI 2.0 Support	初期値 [No] のままで使用します。
APM Configuration	本機の起動に関する設定をします。
Power On By PCIE Devices	ネットワークからの信号により本機を起動できるようにするかどうかを設定します。詳細は  p.42 「Wakeup On LAN」をご覧ください。 Disabled : 設定しません。 Enabled : 設定します。 ※ Enabled (有効) に設定しているときに、電源コードを抜き、再び接続すると、コンピューターが一瞬起動する場合がありますが、不具合ではありません。
Power On By RTC Alarm	コンピューターを指定した時間に起動させる設定をします。 Disabled : 設定しません。 Enabled : 設定します。

RTC Alarm Date /Hour/ Minute/Second ※「Power On By RTC Alarm」を「Enabled」 に設定すると表示され ます。	起動させる日時を設定します。
Restore on AC Power Loss	電源スイッチを押さずに、電源供給時に起動するかを設定します。 分電盤などによる複数のコンピューターの同時起動を行うと、コンピューターの動作に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。 Power Off : 電源が供給されても、電源スイッチを押さない限り起動しません。 Power On : 電源オフ時に、電源スイッチを押さなくても、電源が供給されるとコンピューターが起動します。 Last State : コンピューターの動作中に、雷などの影響で突然電源が切断されたあとに電源が再び供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピューターが起動します。コンピューターを正常終了させた状態では、電源が供給されてもコンピューターは起動しません。
PowerOn Delay Mode	電源スイッチを押したときの反応時間を遅くする設定をします。
Hardware Delay Mode	電源スイッチを押したときの反応時間を遅く(約 1.5 秒)にする設定をします。 電源スイッチに誤って触れた際、すぐに電源が入/切しないようにできます。 Disabled : 設定しません。 Enabled : 設定します。
FAN Control	ファンの設定をします。
CPU FAN Control	初期値 [Enabled] のままで使用します。

Bootメニュー画面


「Boot」メニュー画面では、システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
*は項目表示のみ

Boot Settings configuration	本機の起動に関する設定を行います。
Full Screen Logo	コンピューター起動時にロゴを表示するかを設定します。 Disabled : 表示しません。 Enabled : 表示します。
Bootup Num-Lock	DOS 起動時の NumLock の状態を設定します。 Off : NumLock が押されていない状態にします。 On : NumLock が押された状態にします。
Set Boot Priority	ドライブの起動順番を設定します。
1st Boot	1 番目に起動するドライブを設定します。 初期値 : Optical Disc (外付け光ディスクドライブ)
2nd Boot	2 番目に起動するドライブを設定します。 初期値 : Removable (USB 記憶装置)
3rd Boot	3 番目に起動するドライブを設定します。 初期値 : Hard Disk (HDD)
4th Boot	4 番目に起動するドライブを設定します。 初期値 : Network (ネットワーク)

Hard Disk Drive BBS Priorities	HDD の起動順番が表示されます。
1st Boot . . .	HDD の起動順番
Removable Device BBS Priorities	USB 記憶装置の起動順番が表示されます。
1st Boot . . .	USB 記憶装置の起動順番

Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、パスワードやセキュリティーに関する設定を行います。
 パスワードの設定方法は、 p.64 「パスワードを設定する」をご覧ください。
 設定項目は、次のとおりです。

は初期値
 *は項目表示のみ

Security Settings	セキュリティーに関する設定をします。
* Supervisor Password/ User Password	Supervisor Password (管理者パスワード) と User Password (ユーザーパスワード) が設定されているかどうかを表示します。 Password Installed : パスワードが設定されています。 Password Not Installed : パスワードが設定されていません。
User Access Level ※管理者パスワードを設定 すると表示されます。	「User Password」(ユーザーパスワード) で「BIOS Setup ユーティリティー」にアクセスするときのアクセス制限レベルを 4 段階で設定します。 No Access : ユーザーパスワード使用者は「BIOS Setup ユーティリティー」を起動することができません。 View Only : ユーザーパスワード使用者は「BIOS Setup ユーティリティー」を閲覧できますが、設定項目の変更はできません。 Limited : 「BIOS Setup ユーティリティー」を閲覧できるほかに、ユーザーパスワードなど一部の設定項目を変更できます。 Full Access : ユーザーパスワード使用者に管理者と同一の権利を許可します。「BIOS Setup ユーティリティー」のすべての項目を設定したり閲覧したりすることができます。ただし、管理者パスワードの変更はできません。
Change Supervisor Password	管理者パスワードの設定や変更を行います。
Change User Password	ユーザーパスワードの設定や変更を行います。
Password Check ※管理者パスワードを設定 すると表示されます。	管理者パスワード、ユーザーパスワードを設定している場合に、パスワード入力を要求するタイミングを設定します。 Setup : 「BIOS Setup ユーティリティー」起動時にパスワード入力を要求します。 Always : 「BIOS Setup ユーティリティー」起動時、システム起動時、休止状態から復帰時にパスワード入力を要求します。

	<p>Hard Disk Protection</p> <p>※管理者パスワードを設定すると設定可能になります。</p>	<p>HDD へのアクセス制限の有効 / 無効を設定します。アクセス制限を有効に設定した HDD は、ほかのコンピューターに接続しても認識されなくなります。</p> <p>有効に設定すると、BIOS、システムへのアクセスが制限され、BIOS 起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求します。</p> <p>Disabled : HDD へのアクセスを制限しません。</p> <p>Enabled : HDD へのアクセスを制限します。</p> <p>※ HDD アクセス制限を設定 / 解除する場合は、必ず本機を一度シャットダウンしてから行ってください。また、設定 / 解除後にも本機をシャットダウンしてください。</p>
--	---	--

Exitメニュー画面

「Exit」メニュー画面では、BIOS Setup ユーティリティを終了したり、BIOS の設定値を初期値に戻します。

設定項目は、次のとおりです。

Save Changes and Exit	変更した内容（設定値）を保存してから、BIOS Setup ユーティリティを終了します。
Discard Changes and Exit	変更した内容（設定値）を保存せずに、BIOS Setup ユーティリティを終了します。
Discard Changes	BIOS Setup ユーティリティを終了させずに、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
Load Optimal Defaults	BIOS Setup ユーティリティの設定値を、BIOS の初期設定値に戻します。 ※ 「Security」メニュー画面の項目を BIOS の初期値に戻すことはできません。

BIOSの設定値

BIOS Setup ユーティリティで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておくくと便利です。購入時の設定は必ず記録してください。

Advanced メニュー画面

項 目		購入時の設定		変更内容	
Onboard Device	Onboard Audio	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Onboard LAN	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Onboard LAN Boot ROM	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

Power メニュー画面

項 目		購入時の設定			変更内容	
APM Configuration	Power On By PCIE Devices	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled
	Power On By RTC Alarm	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled
	Restore on AC Power Loss	Power Off	Power On	Last State	Power Off	Power On Last State
PowerOn Delay Mode	Hardware Delay Mode	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled

Boot メニュー画面

項 目		購入時の設定		変更内容		
Boot Settings configuration	Full Screen Logo	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled
	Bootup Num-Lock	Off	On		Off	On
Set Boot Priority	1st Boot					
	2nd Boot					
	3rd Boot					
	4th Boot					

Security メニュー画面

項 目		購入時の設定		変更内容		
Security Settings	Supervisor Password	Not Installed	Installed		Not Installed	Installed
	User Password	Not Installed	Installed		Not Installed	Installed
	* User Access Level	No Access Limited	View Only	Full Access	No Access Limited	View Only Full Access
	* Password Check	Setup	Always		Setup	Always
	* Hard Disk Protection	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled

* 管理者パスワードを設定すると表示されます。

3

ソフトウェアの再インストール

ソフトウェアを再インストールする手順について説明します。

再インストールの前に	76
Windows のインストール	79
ドライバー / ソフトウェアのインストール	84
再インストール後の作業	87

再インストールの前に

ここでは、ソフトウェアの再インストールを行う前に必要な情報を記載しています。

再インストールとは

本書では、HDD をフォーマットして、Windows や本体ドライバーなどをインストールしなおす作業のことを、「再インストール」と記載します。

再インストールは、「リカバリー」とも言います。

再インストールが必要な場合

再インストールは、なんらかの原因で Windows が起動しなくなり、修復しても問題が解決できない場合に行います。通常は必要ありません。



参考

HDD 領域の変更

HDD 領域の変更は、再インストールをしなくても、Windows の「ディスクの管理」で行うことができます。詳しくは、次の場所をご覧ください。

 p.109 「HDD 領域の変更」

Windows を修復する

なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合は、再インストールを行う前に「Windows 回復環境」で Windows の修復を行ってみてください。再インストールしなくても問題が解決する場合があります。

 p.101 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」

システムイメージの回復

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windows やソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

※再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。

システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」－ [お役立ち] － 「カテゴリから選ぶ」－ 「Windows の操作」
－ 「バックアップ」－ 「システムイメージの作成」のデータを復元する方法」

重要事項

再インストールする前に、次の重要事項を必ずお読みください。

当社製以外の BIOS へのアップデート禁止

当社製以外の BIOS へのアップデートは絶対にしないでください。当社製以外の BIOS にアップデートすると、再インストールができなくなります。

Web フィルタリングソフトウェアの継続利用

本機に添付の Web フィルタリングソフトウェア「i-フィルター 30 日版」で継続利用手続きを行っている場合、Windows を再インストールすると利用期限が 30 日に設定されてしまいます。この場合は、デジタルアーツ社のホームページから最新版を入手し、契約済みのシリアル ID を利用してインストールを行ってください。詳細は、デジタルアーツ社にお問い合わせください。

<http://www.daj.jp/cs/support.htm>

最新の情報

インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認して、紙類が添付されている場合は、その手順に従って作業をすすめてください。

必要な機器とメディア

再インストールには、次の機器とメディアが必要です。

- 外付け光ディスクドライブ

本機には光ディスクドライブが搭載されていません。使用するメディアに応じた外付け光ディスクドライブを本機に接続してください。

- Windows 7 リカバリー DVD

Windows が収録されています。


- リカバリーツール CD

本体ドライバーやソフトウェアを、HDD の「消去禁止領域」からインストールするためのプログラムが収録されています。

- そのほか必要なメディア

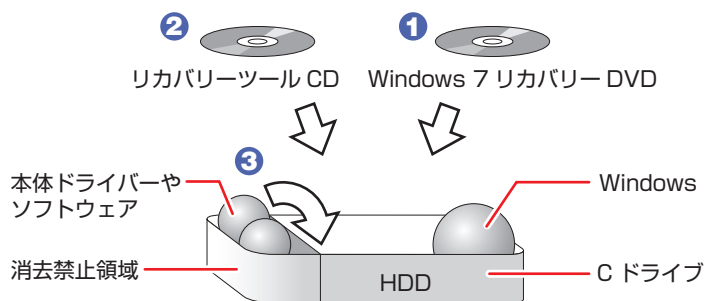
お使いのシステム構成によって必要なメディアは異なります。

本体ドライバーやソフトウェアは HDD の消去禁止領域に収録されているため、専用のメディアは添付されていません。

 p.20 「添付されているソフトウェア」

再インストールの概要


ソフトウェア再インストールの概要は、次のとおりです。



- 1** Windows 7 リカバリー DVD から、Windows をインストールします。
- 2** リカバリーツール CD から、リカバリーツールをインストールします。
- 3** リカバリーツールを使用して、HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアをインストールします。

インストール作業における確認事項

再インストールを始める前に、次の点を確認してください。

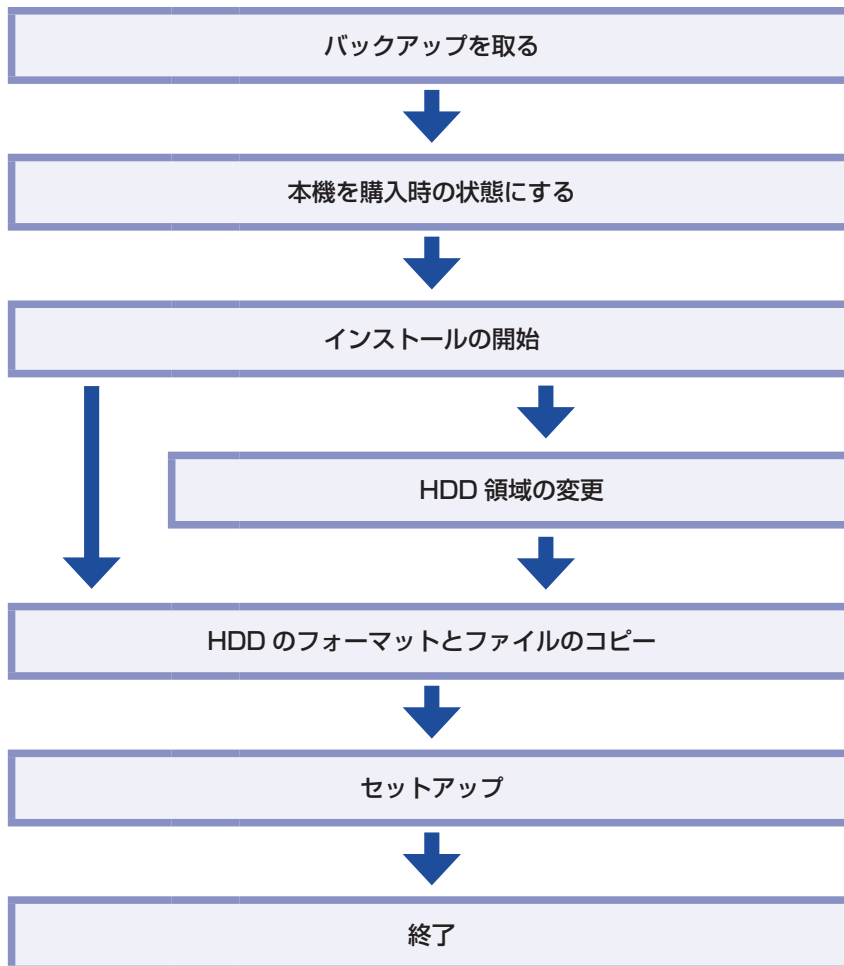
- **管理者 (Administrator) のアカウントでログオン**
インストール作業は、管理者 (Administrator) のアカウントでログオンして行ってください。
- **システム構成**
本章のインストール手順は、購入時のシステム構成を前提にしています。インストールは、BIOS の設定とシステム構成を購入時の状態に戻して行うことをおすすめします。
- **ドライブ名**
本章の説明では、ドライブ構成が次のようになっているものとします。
実際の光ディスクドライブのドライブ名は、HDD 領域の数によって異なります。
C ドライブ : HDD
D ドライブ : 外付け光ディスクドライブ
- **各種設定やデータのバックアップ**
再インストールを行うと、設定した事項が初期値に戻ってしまったり、データが消えてしまったりします。再インストールを行う前に必要に応じて設定を書き写したり、データのバックアップを行っておいてください。
 p.80 「バックアップを取る」
- **初期設定ツール**
初期設定ツールは、Windows を再インストールすると消去されます。
初期設定ツールでインストールしたソフトウェアは、以降で説明する手順に従ってインストールを行ってください。

Windows のインストール

Windows のインストールについて説明します。

インストールの流れ

Windows のインストールの流れは次のとおりです。



バックアップを取る

Cドライブの設定やデータは、Windowsの再インストールを行うと消えてしまいます。再インストールの前に、バックアップを行ってください。*

- ネットワークの設定

接続に関する設定を書き写しておいてください。

- Internet Explorerの「お気に入り」、Windows Liveメールの「アドレス帳」やメールアドレス



「PCお役立ちナビ」－「お役立ち」－「カテゴリから選ぶ」－『Windowsの操作』－「バックアップ」－「Windowsの転送ツールを使う」

このほかのWeb閲覧ソフトやメールソフトをお使いの場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

- その他重要なデータ

* 再インストール中にHDD領域の変更を行うと、Cドライブ以外のドライブ（DやEなど）のデータも消えてしまいますので、バックアップを行ってください。
HDD領域の変更を行わない場合でも、念のためバックアップすることをおすすめします。

本機を購入時の状態にする

周辺機器が接続されていたり、BIOSの設定値が変更されていたりすると、正常にインストールが行われない可能性があります。本機を購入時の状態に戻してから再インストールを行ってください。

外付け光ディスクドライブを接続する


インストールに使用するメディアに応じた外付け光ディスクドライブを、本機に接続してください。

Windows 7のインストール

Windows 7のインストール方法は、次のとおりです。

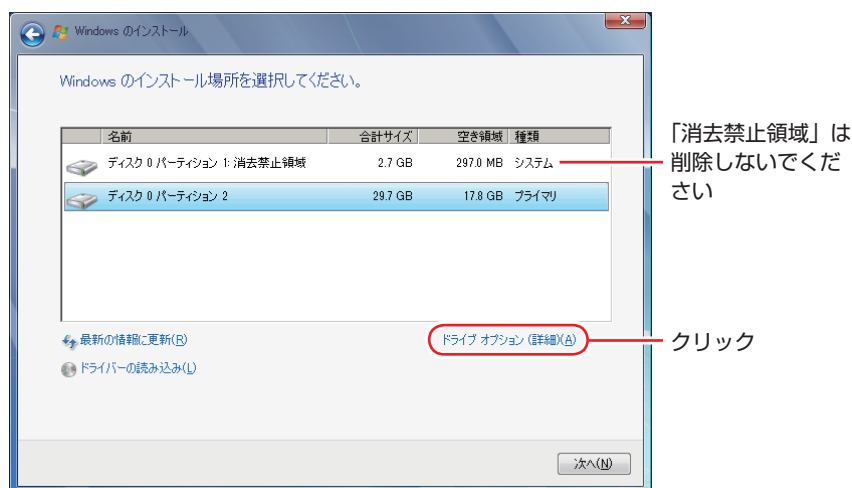
Windows 7 Professionalの場合、Windows XP Modeも同時にインストールされます。

- 1** 本機の電源を入れ、「Windows 7 リカバリー DVD」を光ディスクドライブにセットします。

「自動再生」画面が表示されたら、 をクリックし、画面を閉じてください。
ここからはインストールを行いません。

- 2** 「スタート」－「>」－「再起動」をクリックして、本機を再起動します。

- 3 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。
一定時間内にキーを押さないと、HDD 内の Windows が起動してしまいます。Windows が起動してしまった場合は、2 へ戻ります。
- 4 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 5 オペレーティングシステムの一覧画面が表示されたら、「Windows の起動に伴う…」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「Windows の再インストール」をクリックします。
- 7 「インストールを開始しますか?」と表示されたら、[はい] をクリックします。
- 8 「インストールするオペレーティングシステムを選択してください」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 9 「ライセンス条項をお読みください。」と表示されたら、内容を確認し、「同意します」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。
- 10 「Windows のインストール場所を選択してください。」と表示されたら、「ドライブオプション (詳細)」をクリックします。
※「消去禁止領域」には、ドライバーやソフトウェアの再インストール用データが収録されています。絶対に削除しないでください。



<イメージ>

場合によって、次のとおり作業を続けます。



領域変更を行わない場合（通常）

- 1 「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で「フォーマット」をクリックします。
- 2 「パーティションには…」と表示されたら、[OK] をクリックします。
フォーマットが開始されます。
- 3 フォーマットが終了すると、[次へ] がクリックできる状態になります。
「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で [次へ] をクリックします。
Windows のインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは 20 分～40 分かかります。11 の画面が表示されるまでキーボードやマウスは操作しないでください。

領域変更を行う場合

- 1 「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で「削除」をクリックします。
- 2 「パーティションには…」と表示されたら、[OK] をクリックします。
削除したパーティション（C ドライブ）が「未割り当て領域」となります。
- 3 次のとおり作業を続けます。

C ドライブを分割したい場合

- (1) 「ディスク 0 未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。
4 に進みます。

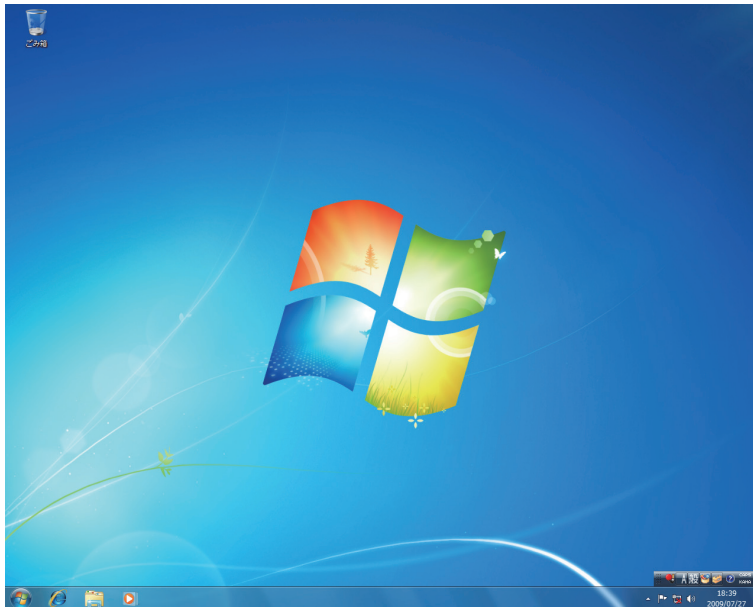
C ドライブの容量を増やしたい場合


すでに HDD が分割されている場合は、C ドライブ以外のドライブを削除して未割り当ての領域を増やします。ただし、削除したドライブのデータは消えてしまいます。

- (1) 消去禁止領域以外の、そのほかのパーティションを C ドライブと同様に削除し、「ディスク 0 未割り当て領域」を増やします。
- (2) 「ディスク 0 未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。
4 に進みます。
- 4 C ドライブのサイズを決めます。サイズを入力し、「適用」をクリックします。
※ C ドライブの目安：80GB（80000MB）以上
- 5 「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で、[次へ] をクリックします。
Windows のインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは 20 分～40 分かかります。11 の画面が表示されるまでキーボードやマウスは操作しないでください。

- 11 「新しいアカウントのユーザー名と…」と表示されたら、ユーザー名、コンピューター名を入力し、[次へ] をクリックします。
※ユーザー名、コンピューター名は半角英数字を入力してください。

- 12 「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」と表示されたら、パスワード（任意）を入力し、[次へ] をクリックします。
- 13 「コンピューターの保護と…」と表示されたら、更新の設定をクリックして選択します。
「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。
- 14 「日付と時刻の設定を確認します」と表示されたら、「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定し、[次へ] をクリックします。
- 15 ネットワークに接続している場合、「お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください」と表示されます。場所をクリックして選択します。
- 16 Windows のデスクトップ（下記の画面）が表示されたら、「Windows 7 リカバリー DVD」を光ディスクドライブから取り出します。



これで Windows 7 のインストールは完了です。
続いて、ドライバーやソフトウェアをインストールします。
 p.84 「ドライバー / ソフトウェアのインストール」



参考

領域変更を行ったら


Windows のインストール中に領域変更を行った場合は、すべてのインストール作業が終わった後で、「未割り当て領域」をドライブにします。

 p.87 「ドライブを作成する」

ドライバー / ソフトウェアのインストール

Windows をインストールしたら、ドライバーやソフトウェアをインストールします。

※ インストールには、外付けの光ディスクドライブが必要です。

購入時のインストール状態は、 p.20 「添付されているソフトウェア」で確認してください。

リカバリーツールのインストール

ドライバーやソフトウェアをインストールするためのツール「リカバリーツール」をインストールします。

リカバリーツールのインストール方法は、次のとおりです。

- 1** 「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「setup.exe の実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピューター」 - 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3** 以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
インストールが完了すると、デスクトップ上に「リカバリーツール」アイコンが表示されます。



<リカバリーツールアイコン>

- 4** 「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブから取り出します。
これで「リカバリーツール」のインストールは完了です。

リカバリーツールからインストールする

次のドライバーやソフトウェアは、リカバリーツールを使用してインストールします。

- 本体ドライバー
- Adobe Reader
- Endeavor 電源プラン設定ツール
- アプリケーション CD
 - Windows Live Essentials
 - マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版
 - i-フィルター 30 日版
 - Bing Bar
 - Internet Explorer 9



参考

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版のインストール

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版は、マカフィー社の登録ユーザー向けサービス「マイアカウント」から最新版をインストールすることをおすすめします。

<https://jp.mcafee.com/root/login.asp>

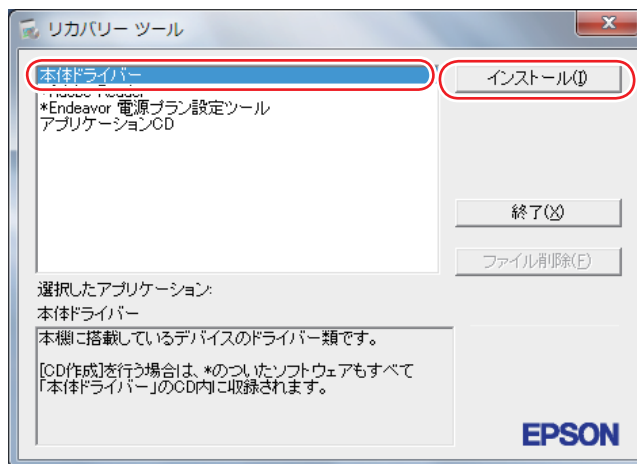
※サービスを利用するには、事前にユーザー登録が必要です。

ユーザー登録をされていない場合は、リカバリーツールからインストールしてください。

リカバリーツールからドライバーやソフトウェアをインストールする方法は、次のとおりです。

- 1** デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3** 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。
- 4** ドライバーやソフトウェアの一覧が表示されたら、インストールする項目を選択して [インストール] をクリックします。

※最初は必ず「本体ドライバー」をインストールしてください。



<イメージ>

- 5** 以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

本体ドライバーの場合

「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックしてください。インストールが完了したら、[PC 再起動] をクリックして、コンピュータを再起動します。



アプリケーション CD の場合

「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、インストールする項目をクリックしてください。

Windows Live Essentials の場合

「インストールするプログラムの選択」と表示されたら、「インストールする製品の選択」をクリックしてください。製品の一覧が表示されたら、そのまま [インストール] をクリックすると、購入時と同じ製品がインストールされます。



参考

リカバリーツールの [ファイル削除] の表示について

リカバリーツールからインストールを行う際、ソフトウェアによっては一時的に HDD にインストール用データをコピーします。「リカバリーツール」画面で [ファイル削除] が黒字で表示される場合は、コピーされた不要なインストール用データが HDD に残っています。[ファイル削除] をクリックしてデータを削除すると、HDD の容量を節約することができます。

そのほかのメディアからインストールする

お使いのシステム構成によって、必要なドライバーやユーティリティ、ソフトウェアをインストールします。インストールは、機器やソフトウェアのメディアを使用して行ってください。

- キーボードユーティリティ
- マウスユーティリティ
- ソフトウェア (Office など)
- プリンターのドライバー
- デジタルカメラのソフトウェア

など



参考

ATOK のインストール

ATOK 無償試用版 (30 日間) は、下記のページからダウンロードしてください。

<http://www.atok.com/try/>

再インストール後の作業

再インストールが完了したら、必要に応じて次の作業を行ってください。

バックアップしたデータの復元

再インストールを行う前にバックアップしたデータを復元します。

- Internet Explorer、Windows Live メールのデータ



「PC お役立ちナビ」－「お役立ち」－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「Windows 転送ツールを使う」

- その他重要なデータ

バックアップ先のメディアなどから元に戻します。

ドライブを作成する

Windows のインストール中に HDD 領域を変更した場合、「未割り当て領域」はそのままでは使用できません。Windows の「ディスクの管理」でドライブを作成すると、使用できるようになります。ドライブの作成方法は、次の場所をご覧ください。

 p.112 「HDD 領域の変更（拡張 / 縮小 / 削除 / 作成）」－「ドライブを作成する場合」

ネットワークの設定

再インストールを行う前に書き写しておいた設定を元に、ネットワークの設定を行います。

Windows やソフトウェアをアップデートする

再インストールをすると、今までに行った Windows やソフトウェアの更新が元の状態に戻ってしまいます。最新の状態になるよう、アップデートを行ってください。

※ アップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。

- Windows

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、最新の状態になります。



p.43 「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」

- ソフトウェア

アップデート方法は、ソフトウェアのヘルプやマニュアルをご覧ください。

最新のドライバーを入手する

当社ユーザーサポートページでは、本機の最新ドライバーを提供しています。必要に応じ、ダウンロードしてご利用ください。

<http://www.epsondirect.co.jp/support/>



4

困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

トラブルが発生したら.....	90
起動・画面表示できないときは.....	92
トラブル時に効果的な対処方法.....	97

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

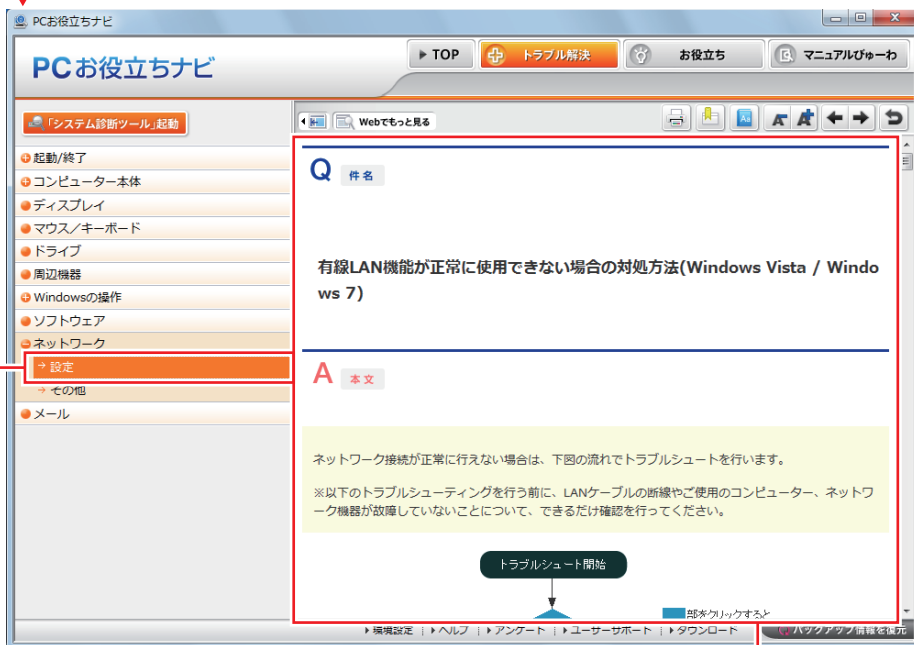
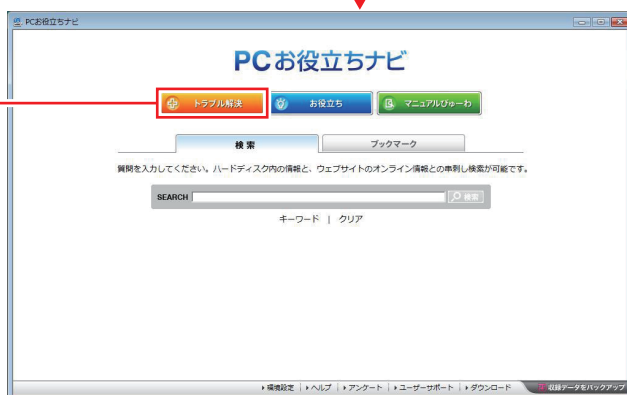
起動・画面表示できる場合…PCお役立ちナビで調べる

コンピューターを起動、画面表示できる場合は、「PC お役立ちナビ」の「トラブル解決」で対処方法を探してください。



ダブルクリック

<PC お役立ちナビアイコン>



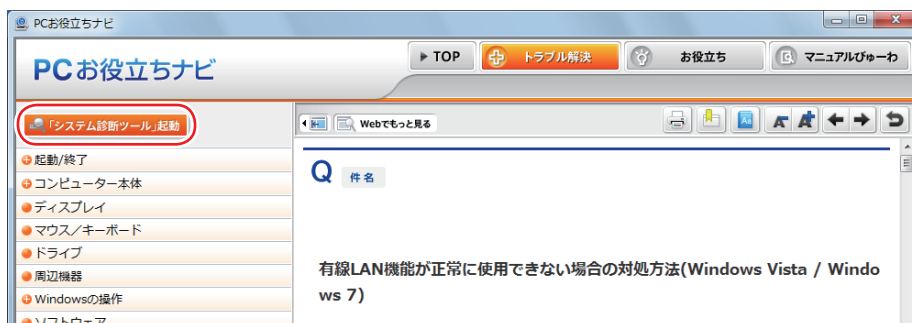
トラブルの種類を選択します

候補の中から見たい項目を選択すると、内容が表示されます

システム診断ツール

「PC お役立ちナビ」の「トラブル解決」には、システム診断ツールが搭載されています。

 p.103 「システム診断ツールを使う」



Windows のトラブルシューティングツール

Windows 7にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング」



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってください。


起動・画面表示できない場合

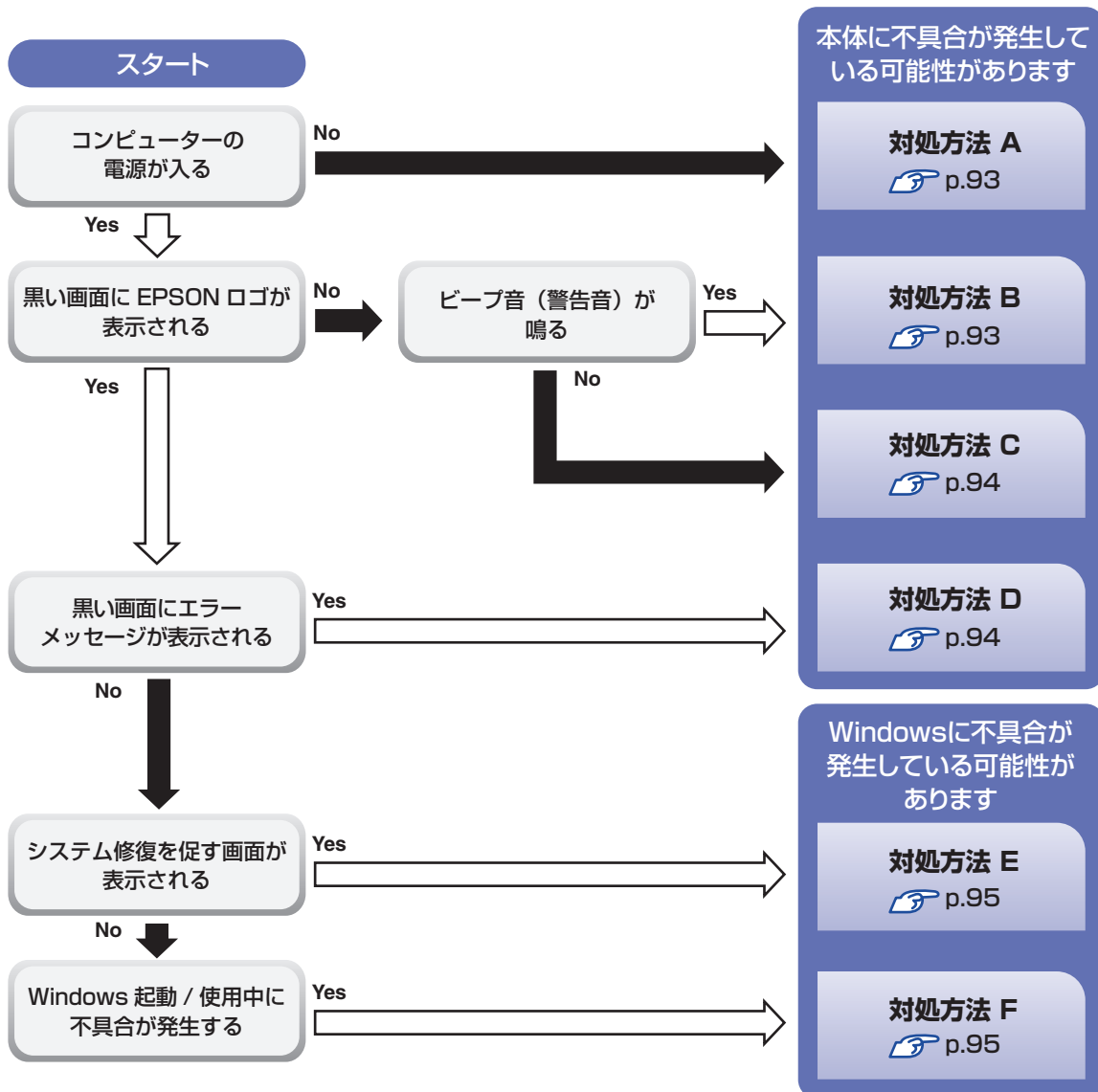
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、 p.92 「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処を行ってください。

診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、 p.93「対処をする」へ進んでください。



対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処を行っても不具合が解消しない場合は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。
サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法 A

次の対処を順番に行ってみてください。

- 1 コンピューター本体の電源を入れなおす**
電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。
- 2 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす**
電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
- 3 壁のコンセントに直接接続する**
電源タップなどにコンピューターの電源コードを接続している場合は、電源タップなどを使用せず、壁にあるコンセントに直接コンピューターの電源コードを接続して、電源を入れてみてください。
- 4 消費電力の大きい機器を停止する**
大画面テレビやエアコンなど、消費電力の大きい機器を使用している場合、それらの機器の電源を切ってから、コンピューターの電源を入れてみてください。
- 5 周辺機器を取り外す**
本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で装着された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 B

次の対処を行ってみてください。

- 1 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす**
電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 C

次の対処を順番に行ってみてください。

1 ディスプレイの電源ランプを確認する

ディスプレイの取扱説明書をご覧になり、ディスプレイの電源ランプが通常動作時の状態になっているかどうか確認してください。

2 ディスプレイケーブルを接続しなおす

コンピューター本体とディスプレイの接続に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、ディスプレイケーブルを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決するかどうか確認してください。

3 別のディスプレイを接続する

ディスプレイとコンピューター、どちらの問題かを切り分けるため、別のディスプレイをお持ちの場合は、コンピューターを接続し、画面が表示されるか確認してください。

4 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす

電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

5 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で装着された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 D

まず、次の表をご覧になり、エラーメッセージに応じた対処をしてください。

メッセージ	内容および対処法
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	<ul style="list-style-type: none">●ブートデバイスにシステムがない場合は、「BIOS Setup ユーティリティ」 - 「Boot」メニュー画面 - 「Set Boot Priority」で、システムの入ったデバイスを設定してください。●ブートデバイスにメディアが挿入されていない場合は、システムの入ったメディアをブートデバイスに挿入してください。
CMOS Battery Low	バックアップ用電池の容量が不足して、CMOS RAM の内容を保持できません。カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。
CMOS Checksum Bad	CMOS の設定が正しく行われていません。BIOS Setup ユーティリティを起動して、「Exit」メニュー画面 - 「Load Optimal Defaults」を選択してください。
CMOS Date/Time Not Set	日付と時間の設定が正しく行われていません。BIOS Setup ユーティリティを起動し、日付と時刻の設定をなおしてから「Exit」メニュー画面 - 「Save Changes and Exit」を選択してください。

あてはまるメッセージがない場合は、次のとおり対処してみてください。

1 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で装着された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 E

次の対処を行ってみてください。

1 表示された画面の指示に従ってシステムを修復する

2 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.75 「ソフトウェアの再インストール」

対処方法 F

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で装着された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

 p.99 「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

 p.99 「常駐ソフトの停止」

常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

 p.99 「システムの復元」

4 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

 p.100 「前回正常起動時の構成で起動する」



5 BIOS の設定を初期値に戻す

BIOS の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOS の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に BIOS の設定をメモしておいてください。

 p.63 「Load Optimal Defaults (BIOS の初期値に戻す)」

6 Windows RE を使う

「Windows 回復環境 (Windows RE)」の回復ツールを使用して、Windows を修復してみてください。

 p.101 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」




7 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.75 「ソフトウェアの再インストール」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

機能	こんなときに
再起動  p.98 本機を再起動します。	<ul style="list-style-type: none">・使用しているソフトウェアで指示があった場合・ソフトウェアや Windows の動作が不安定になったとき
ソフトウェアの強制終了  p.98 ソフトウェアを強制終了します。	<ul style="list-style-type: none">・ソフトウェアや Windows が、キーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなったとき
セーフモードで起動  p.99 必要最低限の状態での Windows を起動します。	<ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
常駐ソフトの停止  p.99 不具合のある常駐ソフトを停止します。	<ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードで起動できたとき）
システムの復元  p.99 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	<ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードで起動できたとき）
前回正常起動時の構成で起動  p.100 Windows を前回正常起動できた状態に戻します。	<ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードでも起動できないとき）
BIOS の初期化  p.63 BIOS の設定を初期値に戻します。	<ul style="list-style-type: none">・BIOS の設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき
リチウム電池の交換  p.100 リチウム電池を交換します。	<ul style="list-style-type: none">・日時や時間がおかしくなる・BIOS で設定した値が変わってしまう
Windows 回復環境 (Windows RE)  p.101 Windows を修復します。	<ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
ソフトウェアの再インストール  p.75 本機を購入時の状態に戻します。	<ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動できないとき）・HDD の領域を分割したいとき
システム診断ツール  p.103 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	<ul style="list-style-type: none">・不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。
次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- 使用しているソフトウェアで指示があった場合
- Windows の動作が不安定になった場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

- 1** [スタート] - [▷] - 「再起動」をクリックします。

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

ソフトウェアの強制終了

ソフトウェアや Windows がキーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。

ハングアップした場合は、ソフトウェアの強制終了を行います。

ソフトウェアの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1** [Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャーの起動」をクリックします。
「Windows タスクマネージャー」が起動します。
- 3** 「アプリケーション」タブからハングアップしているソフトウェアを選択して「タスクの終了」をクリックします。
ソフトウェアが終了します。

強制的に電源を切る

[Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1** 電源スイッチ (⏻) を 7 秒以上押し続けます。
本機の電源が切れます。

セーフモードでの起動

本機を正常に起動できない場合は、セーフモードで起動してみてください。
セーフモードで起動する方法は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源を切り、20 秒程放置してから電源を入れます。
- 2** EPSON と表示され、消えた直後に **F8** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。
- 3** 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、**↑** または **↓** を押して「セーフモード」を選択し、**↵** を押します。
セーフモードで起動できた場合は、不具合に対する対処を行ってください。

常駐ソフトの停止

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼働中、常に稼働しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。
常駐ソフトを停止する手順は次のとおりです。

- 1** [スタート] - [検索ボックス] に「msconfig」と入力して、**↵** を押します。
- 2** 「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐ソフト）のチェックを外し、[OK] をクリックします。
- 3** 「再起動が必要な場合があります」というメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。
常駐ソフトが原因ではなかった場合、外したチェックは元に戻してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。
復元ポイントは通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に自動的に作成されます。
システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

- 1** [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「システムツール」 - 「システムの復元」を選択します。
- 2** 「システムの復元」画面に「推奨される復元」か「別の復元ポイントを選択する」の選択肢が表示された場合は、「推奨される復元」を選択します。
復元ポイントを自分で指定したい場合は、「別の復元ポイントを選択する」を選択します。



- 3** [次へ] をクリックします。
- 4** 復元ポイントの一覧が表示された場合は、復元ポイントを選択し、[次へ] をクリックします。
- 5** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了] をクリックします。
- 6** 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、[はい] をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 7** 再起動後、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。
これでシステムの復元は完了です。

前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

- 1** 本機の電源を入れます。
- 2** 「EPSON」と表示され、消えた直後に **F8** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。
- 3** 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、**↑** または **↓** を押して、「前回正常起動時の構成（詳細）」を選択し、**↵** を押します。

リチウム電池の交換

「BIOS Setup ユーティリティ」で設定した情報は、マザーボード上のリチウム電池により保持されています。

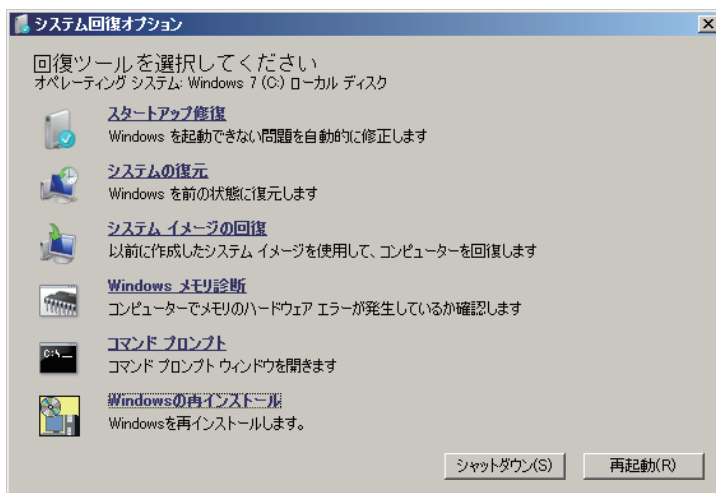
リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、寿命は約5年です。日付や時間がおかしくなったり、BIOSで設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。**別冊**『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

Windows回復環境(Windows RE)を使う

本機のHDD内と「Windows 7リカバリーDVD」には、「Windows回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows REを使用して、修復を行っててください。

Windows REの項目

Windows REには、次の項目があります。



<イメージ>

● スタートアップ修復

Windowsを起動できない問題を自動的に修正します。Windowsが起動できないときは、まずスタートアップ修復を行っててください。問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

● システムの復元

コンピューターの状態を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻します。Windowsの動作が不安定な場合に行ってください。

 p.99 「システムの復元」

問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

● システムイメージの回復

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windowsやソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

※ 再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。

システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。



「PCお役立ちナビ」－「お役立ち」－「カテゴリから選ぶ」－「Windowsの操作」
－「バックアップ」－「システムイメージの作成」のデータを復元する方法」

● Windows メモリ診断

メモリーにハードウェアエラーが発生しているかどうかを確認します。

● コマンドプロンプト

コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

HDD 内の Windows RE を起動する

HDD 内の Windows RE を起動する方法は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源を切り、20 秒程放置してから、電源を入れます。
- 2** 「EPSON」と表示され、消えた直後に **F8** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。
- 3** 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、「コンピューターの修復」を選択し、**↵** を押します。
- 4** 「システム回復オプション」画面が表示されたら、**[次へ]** をクリックします。
- 5** 「回復オプションにアクセスするには…」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には、「パスワード」にパスワードを入力して、**[OK]** をクリックします。
- 6** 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

 p.101 「Windows RE の項目」

DVD の Windows RE を使用する

Windows RE は、「Windows 7 リカバリー DVD」にも収録されています。HDD 内に設定されている Windows RE を消去してしまった場合などに使用してください。

DVD に収録されている Windows RE の起動方法は、次のとおりです。

※ 外付けの光ディスクドライブが必要です。

- 1** 「Windows 7 リカバリー DVD」を光ディスクドライブにセットして、本機を再起動します。
- 2** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。
- 3** 「システム回復オプション」画面が表示されたら、**[次へ]** をクリックします。
- 4** オペレーティングシステムの一覧が表示されたら、**[次へ]** をクリックします。
- 5** 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

 p.101 「Windows RE の項目」

システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断ツールの種類

システム診断ツールには、次の2種類があります。

- PC お役立ちナビから起動するシステム診断ツール

PC お役立ちナビからシステム診断を行うことができます。Windows を起動できる場合に使用します。

- CD から起動するシステム診断ツール

Windows が起動できない場合に、「リカバリーツール CD」からツールを起動してシステム診断を行います。

システム診断を実行する

Windows を起動できる場合とできない場合で、システム診断の実行方法は異なります。

Windows を起動できる場合

PC お役立ちナビからシステム診断を行います。
実行方法は、次のとおりです。

- 1** デスクトップ上の「PC お役立ちナビ」アイコンをダブルクリックします。



< PC お役立ちナビアイコン >

- 2** PC お役立ちナビが起動したら、[トラブル解決] - [システム診断ツール起動] をクリックします。


- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。

- 4** システム診断ツールが起動したら、診断したい項目をクリックします。
該当項目の診断が開始されます。

- 5** 診断が終了したら、診断結果を確認します。

「Passed」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。

「Failed」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。


 [別冊『サポート・サービスのご案内』](#)をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。

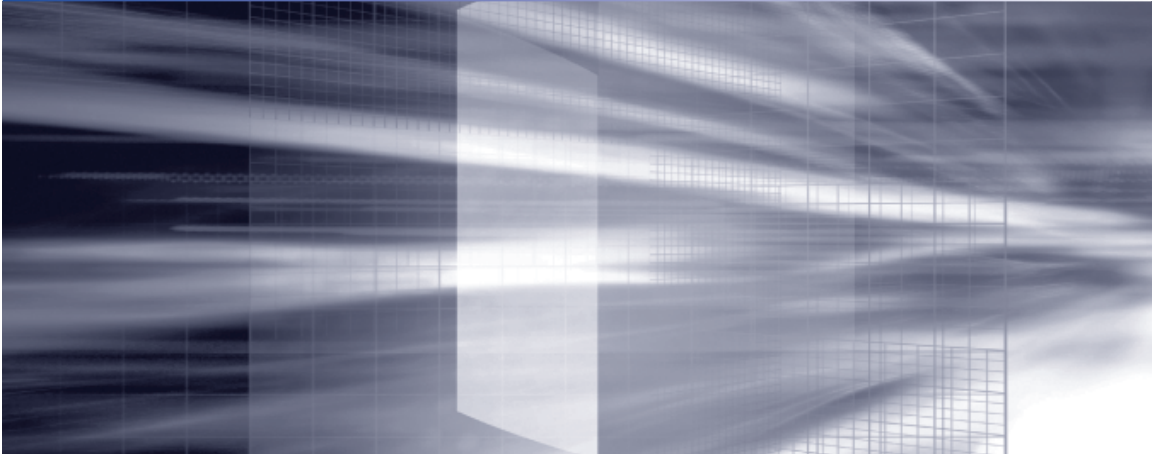
Windows を起動できない場合

「リカバリーツール CD」からシステム診断ツールを起動します。

実行方法は、次のとおりです。

※ 外付けの光ディスクドライブが必要です。

- 1** 「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブにセットして、本機を再起動します。
- 2** 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、消えたあと、「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 3** 診断が終了したら、診断結果を確認します。
「F」が表示された場合は、表示された項目に不具合がある可能性があります。『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。
- 4** 光ディスクドライブから CD を取り出し、電源を切ります。
これでシステム診断は完了です。



付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

お手入れ	106
消去禁止領域のデータをバックアップする	107
HDD 領域の変更	109
コンピューターを廃棄するときは	113
機能仕様一覧	115

お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。キーボードやマウスの外装の汚れも同様です。



ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。
変色や変形の可能性があります。

通風孔

通風孔にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。
定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。

消去禁止領域のデータをバックアップする

HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアのインストール用データは、CD や USB 記憶装置にバックアップすることができます。

HDD が故障したり、誤って消去禁止領域を削除したりすると、インストール用データは消えてしまいます。万が一に備え、バックアップをおすすめします。

バックアップ方法

バックアップはリカバリーツールを使用して行います。バックアップ方法は次のとおりです。

※ CD へバックアップするには、書き込み機能のある外付けの光ディスクドライブが必要です。

1 バックアップメディア（USB 記憶装置または空の CD）をセットします。

「自動再生」画面が表示された場合は、閉じておきます。

2 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。



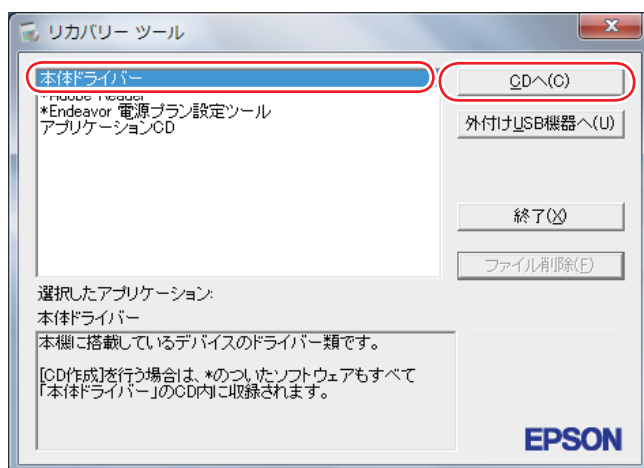
<リカバリーツールアイコン>

3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

4 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[バックアップ] をクリックします。

5 本体ドライバーやソフトウェアの一覧の画面が表示されたら、一覧からバックアップしたい項目を選択して [CD へ] または [外付け USB 機器へ] をクリックします。

- ・ [外付け USB 機器へ] を選択すると、HDD 内（D ドライブなど）へもバックアップが可能ですが、万が一に備え、データは外付けの機器に保存しておくことをおすすめします。
- ・ 外付け USB 機器の場合は、消去禁止領域内のすべてのデータが一括でバックアップされます。バックアップに必要な空き容量は約 2GB です。容量は機種ごとの構成により異なります。
- ・ CD の場合は、1 項目につき 1 枚必要です。ただし、項目名の前に「*」のついたソフトウェアは、すべて本体ドライバーの CD 内に収録されます。個々に CD を作成する必要はありません。



<イメージ>



ここで、バックアップするデータが一時的に HDD にコピーされます。コピーには数分かかります。

- 6 以降は画面の指示に従って書き込みを行ってください。

バックアップデータからインストールを行うには


バックアップデータからドライバーやソフトウェアをインストールする方法は次のとおりです。

CD からのインストール

- 1 バックアップ CD を外付けの光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exe *の実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピューター」 - 「CD-ROM アイコン」をダブルクリックします。
* CD により項目名は異なります。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 4 インストール画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

USB 機器からのインストール

USB 機器からのインストール方法は次のとおりです。

- 1 バックアップデータの入った USB 機器を本機に接続します。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピューター」 - 「USB 機器」をダブルクリックして開きます。
- 3 バックアップデータが表示されたら、「EPSONInst.exe」をダブルクリックします。
- 4 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 5 以降は  p.84 「リカバリーツールからインストールする」と同様の手順でインストールを行ってください。

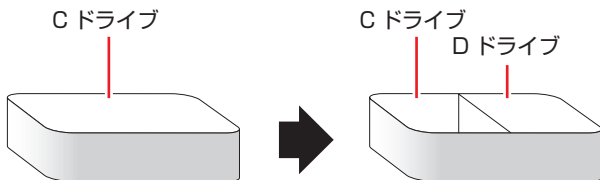
HDD 領域の変更

ここでは、HDD 領域の変更方法について説明します。

HDD領域を分割して使用する(概要)

HDD 領域は、いくつかかに分割して使用することができます。

分割したひとつひとつの領域を「パーティション」と言います。また、Windows で使えるように作成した領域を「ドライブ」と言います。



参考

消去禁止領域

「消去禁止領域」には、本体ドライバーやソフトウェアなどを再インストールするためのデータと「Windows 回復環境 (Windows RE)」が設定されています。この領域を削除すると再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

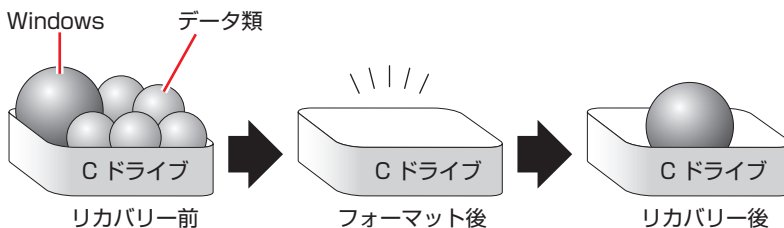
HDD 領域分割のメリットとデメリット

HDD 領域を分割すると、次のようなメリット・デメリットがあります。
HDD 領域を分割する場合は、これらをよく理解した上で行ってください。

メリット

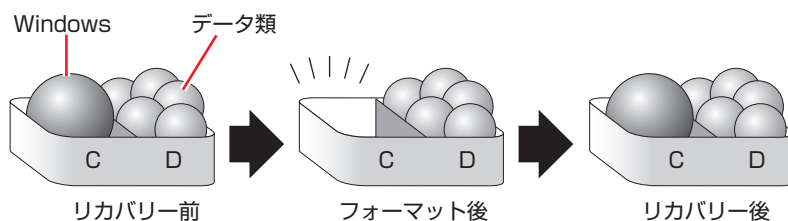
HDD 領域を分割してデータの保存先を分けておくことで、Windows の再インストール（リカバリー）時に最小限の作業で元の環境に復帰することができます。

HDD 領域が 1 つの場合



リカバリーを行うと、C ドライブのデータはすべて消去されます。

HDD 領域を分割した場合



たとえば、Windows やソフトウェアは C ドライブに、作成したデータなどは D ドライブに保存しておきます。

この状態でリカバリーを行うと、消去されるのは C ドライブのみとなるため、D ドライブのデータは、リカバリー後、すぐにそのまま使用することができます。



制限

リカバリーを行うときは、万一に備え、C ドライブ以外のドライブの重要なデータもバックアップしておくことをおすすめします。

デメリット

- HDD 領域変更の際、ドライブを削除すると、ドライブ内のデータはすべて消去されます。
- HDD 領域を分割して使用すると、それぞれ分けられた領域の最大容量までしか使用できないため、それぞれの領域により、容量が制限されます。

HDD 領域の変更(拡張/縮小/削除/作成)

HDD 領域の変更は、Windows の「ディスクの管理」で行います。

C ドライブ (Windows がインストールされているドライブ) の領域変更も、「ディスクの管理」で行うことができます。



参考

Windows の再インストール中に領域変更する

HDD 領域の変更は、Windows の再インストール中に行うこともできます。

 p.79 「Windows のインストール」

ドライブの作成は、「ディスクの管理」で行ってください。

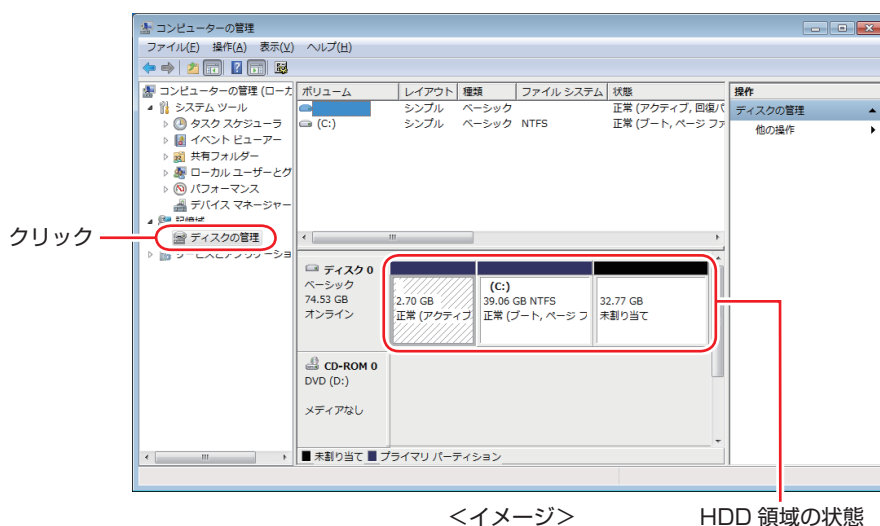


制限

- 作業の前に、重要なデータは外付け HDD などにバックアップしてください。
- 拡張は、ドライブのすぐ後ろ (右隣) に「未割り当て」領域がある場合のみ可能です。
- 縮小できるサイズには限界があります。
- C ドライブ (Windows がインストールされているドライブ) は削除できません。
- ドライブを削除すると、ドライブ内のすべてのデータは削除されます。
- 作成は、「未割り当て」領域がある場合のみ可能です。

HDD 領域の変更（拡張 / 縮小 / 削除 / 作成）方法は、次のとおりです。

- 1 [スタート] – 「コントロールパネル」 – 「システムとセキュリティ」 – 「管理ツール」 – 「コンピューターの管理」 – 「ディスクの管理」を開きます。



- 2 HDD 領域の変更（拡張 / 縮小 / 削除 / 作成）を行います。

ドライブを拡張する場合

- 1 拡張するドライブを右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの拡張」をクリックします。
- 2 「ボリュームの拡張ウィザードの開始」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 3 「ディスクの選択」と表示されたら、「ディスク領域 (MB) を選択」で拡張する容量を入力し、[次へ] をクリックします。
- 4 「ボリュームの拡張ウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。
ドライブが拡張され、ドライブの容量が増えます。

ドライブを縮小する場合

- 1 縮小するドライブを右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの縮小」をクリックします。
- 2 「(ドライブ文字) の縮小」画面が表示されたら、「縮小する領域のサイズ」を入力し、[縮小] をクリックします。
ドライブが縮小され、「未割り当て」領域が増えます。
※ C ドライブの目安：80GB (80000MB) 以上



ドライブを削除する場合

- 1 削除するドライブを右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの削除」をクリックします。
- 2 「・・・続行しますか？」と表示されたら [はい] をクリックします。
ドライブが削除され、「未割り当て」領域が増えます。

ドライブを作成する場合

- 1 「未割り当て」を右クリックして、表示されたメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックします。
- 2 「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 3 「ボリュームサイズの指定」と表示されたら、サイズを指定して、[次へ] をクリックします。
- 4 「ドライブ文字またはパスの割り当て」と表示されたら、ドライブ文字を選択して [次へ] をクリックします。
- 5 「パーティションのフォーマット」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6 「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。
フォーマットが開始します。フォーマットが完了したら、ドライブが使用できるようになります。

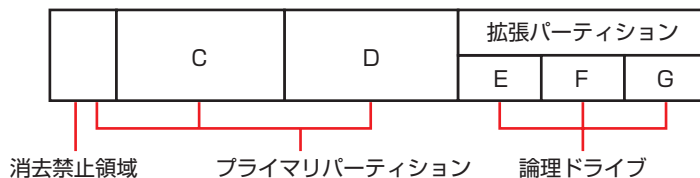


参考

パーティションの種類

- パーティションには、「プライマリパーティション」と「拡張パーティション」があります。
- 1 つの HDD に作成できるパーティションは最大で 4 つです。
- 「消去禁止領域」もパーティションの 1 つです。
- パーティションを作成すると、自動的に 3 つ目まではプライマリパーティションとなり、4 つ目は拡張パーティションとなります。
- 拡張パーティションには、論理ドライブをいくつも作成できます。

<パーティションの組み合わせの例>



コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項や、HDD のデータ消去方法について説明します。
パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/pcrecycle/>

コンピューターの廃棄・譲渡時のHDD上のデータ消去に関するご注意

コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中のHDDという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。

ところが、このHDD内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ① データを「ごみ箱」に捨てる
- ② 「削除」操作を行う
- ③ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ④ ソフトで初期化（フォーマット）する
- ⑤ 付属のリカバリー CD/DVD を使い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。

まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OSのもとでファイルを復元する事ができてしまいます。更に②～⑤の操作をしても、HDD内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。

つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターのHDD内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、HDD上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、HDDに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（有償）を利用するか、HDD上のデータを物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、HDD上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくコンピューターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

HDDのデータを消去する

本機を廃棄する前に HDD のデータを消去してください。

ドライバー CD に収録されている「システム診断ツール」では、HDD 内のデータをすべて消去することができます。

消去を開始すると、HDD のデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。












制限

データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。HDD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

データの消去

HDD 内のデータを消去する手順は、次のとおりです。

※ 外付けの光ディスクドライブが必要です。

- 1** 本機の電源を入れ、リカバリーツール CD を光ディスクドライブにセットします。
「自動再生」画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [▷] - 「再起動」をクリックして、本機を再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 4**  +  を押して診断を中止した後、どれかキーを押します。
- 5** 選択項目画面が表示されたら、 で「HD Erase」を選択して  を押します。
- 6** 選択項目画面が表示されたら、 で「Full Erase」を選択して  を押します。
- 7** 選択項目画面が表示されたら、「No Verify」を選択して  を押します。
「!!WARNING!!」画面が表示されます。
消去が開始されると、途中で止めることはできません。
消去を中止する場合は、 を押すと、「システム診断ツール」画面に戻ります。
- 8** キーボードで「Yes」と入力します。
消去が始まります。
消去には、しばらく時間がかかります。かかる時間は HDD の容量によって異なります（40GB の HDD の場合で約 30 分）。
- 9** 「Erase of HDO :Passed Press any key to continue.」と表示されたら、CD を光ディスクドライブから取り出して、本機の電源を切ります。
これでデータの消去は完了です。

機能仕様一覧

型番	NP30S		NB50E	
CPU/APU ^{*1}	AMD デュアルコア C-60 APU		AMD デュアルコア E-450 APU	
チップセット	AMD A45 FCH			
BIOS	AMI BIOS			
メインメモリー	規格	PC3-10600 (DDR3-1333) ^{*2}		
	容量	2GB	2GB または 4GB ^{*3}	
	スロット	SODIMM スロット (204 ピン) × 1		
ビデオ機能 (APU 内蔵)	コントローラー	AMD Radeon HD 6290 グラフィックス	AMD Radeon HD 6320 グラフィックス	
	メモリー (メインメモリーと共用)	最大 950MB	メインメモリー 2GB 時 : 最大 950MB メインメモリー 4GB 時 : 最大 1974MB	
	表示解像度 (最大) ^{*4}	1600 × 1200、1920 × 1200 (ワイドディスプレイ接続時のみ) True Color 32 ビット (約 1,677 万色)		
HDD	シリアル ATA 300MB/s 対応 2.5 型 HDD			
サウンド機能	ハイ・デフィニション・オーディオ対応 Realtek 製 ALC662 コントローラー			
ネットワーク機能	1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応 Realtek 製 RTL8111E-VB コントローラー			
インタフェース	USB	6 (前面 × 2、背面 × 4) : USB2.0		
	LAN	1 : RJ-45		
	サウンド	前面 : ヘッドホン出力 × 1、マイク入力 × 1 背面 : ライン出力 × 1		
	ディスプレイ	1 : DVI-I 29 ピン		
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ) ^{*5}	本体のみ : 20 × 154 × 173mm スタンド含む : 75 × 154 × 199mm			
質量 (基本構成時)	約 760g (スタンド含む)		約 790g (スタンド含む)	
電源 (AC アダプター) ^{*6}	型番	ADP-40MH	ADP-65JH	
	入力	AC100V ~ 240V ± 10% (50/60Hz)、1.5A	AC100V ~ 240V ± 10% (50/60Hz)、1.5A	
	出力	DC19V、2.1A、40W	DC19V、3.42A、65W	
	質量	約 266g (電源コード含む)	約 310g (電源コード含む)	
消費電力 (最大定格出力時)	47.6W (理論値)		76.5W (理論値)	
動作環境	動作温度 : 10 ~ 35℃、動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)			

^{*1} APU=APU (An Accelerated Processing Unit) は 1 つ、もしくは 2 つ以上の CPU と外付けグラフィックス相当のコアが融合した AMD のプロセッサです。

^{*2} AMD デュアルコア C-60 APU 搭載時は 1066MHz で動作します。

^{*3} Windows 7 32bit の場合、システム上利用できるのは約 3GB までです。

^{*4} 本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度であり、接続するディスプレイの仕様によっては表示できない場合があります。

^{*5} セキュリティーロックホール部を除く。

^{*6} 本機に搭載されている電源コードは AC100V 用 (日本仕様) です。本製品は国内専用ですので海外でお使いの場合は保証対象外となります。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」 - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 29841 (NP30S)
29827 (NB50E)

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/